

IE / EX FAX インターフェース
利用ガイド

第1版 1994年 4月 第2.1 版
第2版 1996年 4月
第3版 2001年 7月
第4版 2005年 10月
第5版 2006年 05月 本書

はじめに

本書は、EDIサービス<IE/EX>をご利用されるお客様に、IE/EX FAXインターフェースのご利用方法を紹介するものです。

IE/EXサービスについては、下記のマニュアルがありますのでご参照下さい。

EDI サービス <IE/EX> 概説書	GXS-I001
EDI サービス <IE/EX> IE/EXプロトコル ご利用の手引き	GXS-I002
EDI サービス <IE/EX> サービス管理責任者 ご利用の手引き	GXS-I003
EDI サービス <IE/EX> 業界プロトコル ご利用の手引き	GXS-I004

改訂内容

本書改訂内容は下記の通りです。

- 画質密度ファインのみ
- リトライタイプ変更
- 結果通知情報レコード内、配信開始時刻の秒00固定
- 結果通知情報レコード内、エラー・コード54追加
- 罫線行間隔依存廃止
- 最大編集枚数255枚
- シフトJIS出力可能文字一覧の変更（JIS X 0208-1983 準拠）

もくじ

1 サービスの概要.....	1-1
1. 1 IE/EX FAXインターフェースとは.....	1-1
1. 2 利用可能ユーザー.....	1-1
1. 3 FAXセンターの機能.....	1-2
1. 4 使用文字コード.....	1-3
1. 4. 1 使用文字コードとJ系とE系.....	1-3
1. 4. 2 使用できる文字コード.....	1-3
2 送信方法.....	2-1
2. 1 送信のしかた (ユーザー ---> FAXセンターへのデータ形式)	2-1
2. 1. 1 宛先 (ユーザー ---> FAXセンター) とメッセージ識別コード.....	2-1
2. 1. 2 送信データ.....	2-2
2. 2 Aレコード.....	2-4
2. 2. 1 レコード [〃] 区分.....	2-5
2. 2. 2 データ区分.....	2-5
2. 2. 3 FAX編集情報.....	2-6
2. 2. 4 送信結果要求.....	2-9
2. 2. 5 配信情報.....	2-9
2. 2. 6 FAX番号.....	2-9
2. 2. 7 リザーブ.....	2-9
2. 3 Pレコード.....	2-10
2. 4 C/Mレコード.....	2-12
3 受信方法.....	3-1
3. 1 受信のしかた (FAXセンター ---> ユーザーへのデータ形式)	3-1
3. 1. 1 結果通知送信元とメッセージ識別コード.....	3-1
3. 1. 2 結果通知データ.....	3-2
3. 2 Hレコード.....	3-3
3. 3 Dレコード.....	3-4
3. 4 エラー・コード一覧.....	3-6
3. 5 結果通知先変更.....	3-7
3. 5. 1 結果通知先変更の指定方法.....	3-7
3. 5. 2 注意点.....	3-9

4	イメージ方式.....	4-1
4.1	イメージ方式でできること.....	4-1
4.2	イメージ方式の使い方.....	4-1
4.2.1	イメージ方式データの作成.....	4-1
4.2.2	イメージ方式の送信.....	4-2
4.3	イメージ方式の注意点とポイント.....	4-2
5	マップ登録.....	5-1
5.1	マップ登録でできること.....	5-1
5.2	マップ登録の使い方.....	5-1
5.2.1	マップ登録のしかた.....	5-1
5.2.2	文字飾り.....	5-5
5.2.3	罫線サポート.....	5-7
5.2.4	置換フィールド.....	5-8
5.2.5	マップ登録/更新/削除の送り方.....	5-9
5.3	マップ登録の注意点とポイント.....	5-10
6	バーコード機能.....	6-1
6.1	バーコードでできること.....	6-1
6.2	利用できるバーコード種類.....	6-1
6.3	バーコード機能の使い方.....	6-2
6.3.1	バーコードの登録.....	6-2
6.3.2	バーコードの送信.....	6-3
6.4	バーコードの注意点とポイント.....	6-3
6.4	バーコードの注意点とポイント.....	6-4
7	マッピング方式.....	7-1
7.1	マッピング方式でできること.....	7-1
7.2	マッピング方式の使い方.....	7-1
7.2.1	マッピング方式の登録.....	7-1
7.2.2	マッピング方式の送信.....	7-5
7.3	マッピング注意点とポイント.....	7-6
7.3.1	マッピングデータ サンプル.....	7-7
8	出力文字数拡大機能.....	8-1
8.1	出力文字数拡大機能でできること.....	8-1
8.2	出力文字数拡大機能の使い方.....	8-1
8.2.1	指定のしかた.....	8-1
8.2.2	出力文字数拡大指定時の行間隔と最大行数.....	8-2
8.3	出力文字数拡大機能の注意点とポイント.....	8-3

9 利用上の注意点.....	9-1
9. 1 出力時間.....	9-1
9. 2 JCAプロトコル.....	9-1
9. 3 IEユーザー.....	9-2
9. 4 大量データ送信中のマップ更新.....	9-2
9. 5 ユーザーID解約時.....	9-2
9. 6 フリーダイアル（0120）及びナビダイアル（0570）へのFAX出力.....	9-3
9. 7 FAX通信管理レポートの送信元.....	9-3
10 ユーザーID一覧とメッセージ識別コード.....	10-1
10. 1 ユーザーID.....	10-1
10. 2 メッセージ識別コード.....	10-2
11 料金体系の説明.....	11-1
11. 1 料金項目.....	11-1
11. 2 留意点.....	11-2
添付1：用語集.....	
添付2：利用例（データ作成サンプル、Expedite Base/MVS）.....	
添付3：バーコードについて（二次元バーコードは含まず）.....	
添付4：登録マップ一覧控え.....	

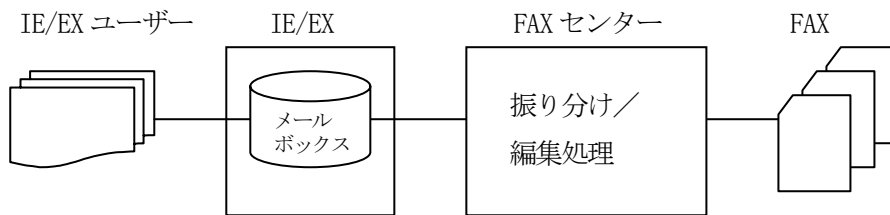
1 サービスの概要

1.1 IE/EX FAXインターフェースとは

IE/EX経由でFAXに出力できます。

サポートされるFAX端末は国内にあるGⅢ-FAX端末です。

また、バーコード出力を指定することにより、FAX端末よりバーコードを出力することもできます。



1.2 利用可能ユーザー

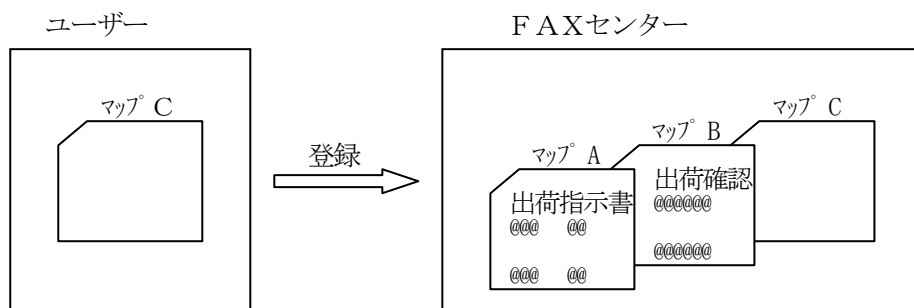
- 全銀/ IP全銀
- JCA (使用上注意が必要です。9.2 参照。)
- LU6.1 RYO (使用上注意が必要です。9.3 参照。)
- Expediteシリーズ (使用上注意が必要です。9.3 参照。)
- IE FTP

注意： 国際IEユーザーは利用できません。

1.3 FAXセンターの機能

ーマップ登録、更新機能

事前に、FAX端末への出力帳票のスケルトンを、FAXセンターに登録しておくことができます。これをマップと言います。出力のたびにデータが変わる場所(変数)は、置換フィールドとして@マークで指定しておきます。

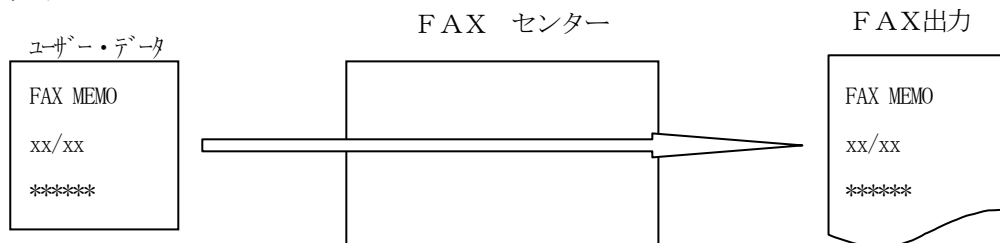


ーFAXデータ編集機能 (イメージ方式、マッピング方式)

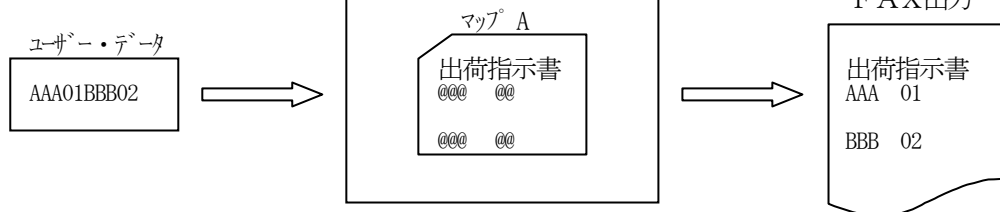
イメージ方式では、ユーザーが送信したデータがそのままFAXに出力されます。

マッピング方式では、事前に登録したマップ内の置換フィールド(@マーク)にユーザーが送信したデータが埋められてFAXに出力されます。

イメージ方式



マッピング方式



－FAX出力機能（用紙サイズ・行間隔）

用紙サイズは、A4タテ／ヨコ、B4タテ／ヨコから選べます。

※ バーコードはタテのみです。

行間隔は、10～30の間で選べます。

※ 文字飾りで、00～99に変更可能です。5. 2. 2 参照。

－結果通知機能

最終処理結果が、15分毎にFAXセンターから送信したユーザーIDへ戻されます。

指定により、送信したデータがFAXに出力されたのか等のFAX出力状況や、どのようなエラーが発生したのか等のエラー状況が確認できます。結果通知データは、EBCDICです。

※ 結果通知先IDは、指定により変更できます。3. 5 参照。

1.4 使用文字コード

1.4.1 使用文字コードとJ系とE系

FAXのデータ部分は、下記文字コードに従います。

（ただし、IE/EXコントロール部分はこの範囲ではありません。）

- | | |
|-----------------------|------|
| －ASCII／シフトJIS漢字の文字コード | “J系” |
| －EBCDIC／IBM漢字の文字コード | “E系” |

1.4.2 使用できる文字コード

－アルファベット（半角英小文字は送れません!）

－数字

－特殊文字

－カタカナ（半角カタカナはOK!）

－漢字

注意：JIS第一水準、第二水準以外のものを送ると『■』で出力します。外字も不可。

E系を使用する場合は特に注意してください。

2 送信方法

2.1 送信のしかた (ユーザー ---> FAXセンターへのデータ形式)

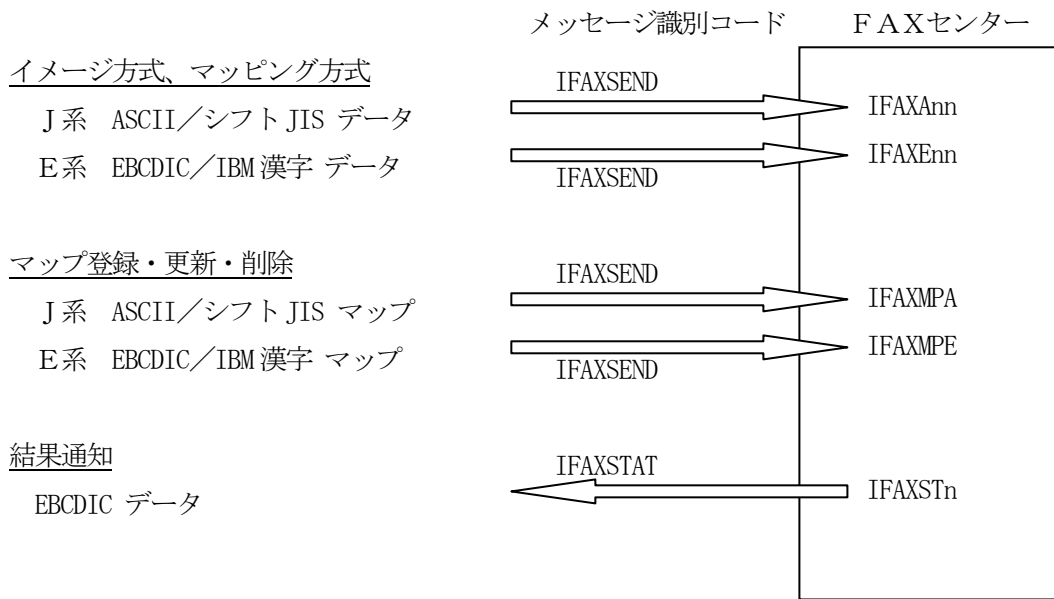
2.1.1 宛先 (ユーザー ---> FAXセンター) とメッセージ識別コード

- ① 宛先は、送信するデータの種類 (J/E系、マップ登録/更新、イメージ/マッピング方式) で異なります。誤った宛先に送るとエラーになります。各宛先 (IFAXAnn/IFAXEnn) のサフィックス (nn) は '01' から順次カウント・アップされます。お客様がどのサフィックスの宛先にデータを送信するかは登録申請時に割り当てられますので、お客様側システムは宛先を変更できるよう設計してください。

※ 送信側のサンプルJCLは、添付2 参照。

- ② 送信データのメッセージ識別コードは、『IFAXSEND』と設定してください。

※ 結果通知受信時のメッセージ識別コードは、『IFAXSTAT』です。3.1 参照。



FAXセンター送信宛先

送信データの種類	宛先	全銀センターコード [※]	JCAセンターコード [※]	
イメージ方式・マッピング方式	J系	IFAXA01	04224584811001	805011
	E系	IFAXE01	04224584811003	805013
マップ登録・更新・削除	J系	IFAXMPA	04224584811002	805012
	E系	IFAXMPE	04224584811004	805014
結果通知	E系	IFAXST1	04224584811005	805015

2.1.2 送信データ

① 送信データは、128バイトの固定長で送ります。(ただし、結果通知は80バイトです。3.1参照)

② 最初が‘A’で始まる **ファイルヘッダーレコード**

- Aレコードは、FAX出力・編集・マップ・相手先等に関する情報を定義します。
- 先頭がAレコードでない時は、次のAレコードまでエラーとなります。
- Aレコードが連続した場合は、同報となります。
- 同報数は最大1000件です。

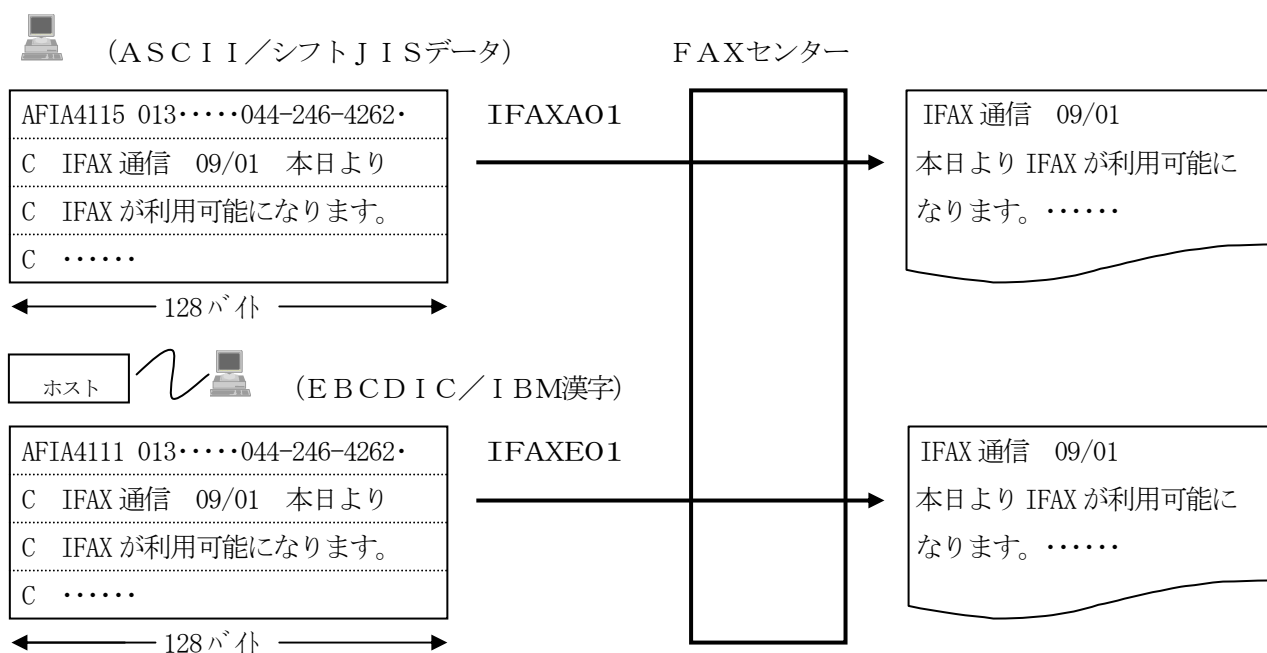
最初が‘C’、‘M’で始まる **コード制御レコード**

- Cレコードは、イメージ方式・マッピング方式の実際のFAX出力データです。
- Mレコードは、マップ登録・更新の実際のFAX出力データです。

最初が‘P’で始まる **ページ制御レコード**

- 前頁と異なったマップを使用するときに指定します。たとえば、1宛先に異なるマップの2頁を出力する場合、1頁目はAレコード2頁目はPレコードを使います。
- イメージ方式出力の場合は、指定できません。
- バーコード、出力文字数拡大機能(8参照)、標準出力の混在、縦と横の混在はできません。

<<イメージ方式で、FAX出力する場合>>



2.2 Aレコード

“A” ファイルヘッダーレコード・フォーマット (通信制御情報)

項番	項目	属性	桁数	開始	内容	FM	FI	MI	MU	MD
1	レコード区分	英字	1	1	固定 'A'	◎	◎	◎	◎	◎
2	データ区分	英字	2	2	FAX 出力= 'FI' イメージ方式 FAX 出力= 'FM' マッピング方式 マップ登録= 'MI' マップ更新= 'MU' マップ削除= 'MD'	◎	◎	◎	◎	◎
3	FAX 編集情報		24	4						
	3-1	サイズ	英数字	2	4	'A4' or 'B4'	◎	◎	◎	◎
	3-2	方向	数字	1	6	縦= '1' or 横= '2'	◎	◎	◎	◎
	3-3	画面密度	数字	1	7	ファイン= '1'	○	○	○	○
	3-4	漢字コード	数字	1	8	E系= '1' or J系= '5'	◎	◎	◎	◎
	3-5	リザーブ		1	9	ブランク				
	3-6	リライタイプ	数字	1	10	リライ方式選択 '0' ~ '9' (デフォルト '0')	○	○	○	○
	3-7	行間隔	数字	2	11	'10' ~ '30'		◎	◎	◎
	3-8	リザーブ		1	13	ブランク	◎			
	3-9	マップ識別子1	英数字	8	14	送信元顧客コード	◎	◎	◎	◎
	3-10	マップ識別子2	英数字	1	22	'0'~'9' , 'A'~'Z'	◎		◎	◎
	3-11	バーコード種類	数字	1	23	2 OF 5 STANDARD= '1' 2 OF 5 INTERLEAVED= '2' NW-7= '3' CODE39= '4' JAN/SHORT= '5' JAN/CODE= '6'			◎ *	◎ *
	3-12	出力文字 拡大	数字	1	24	標準(マージンあり)= '2' or ブランク 拡大(マージンなし)= '1'		○	○	○
	3-13	リザーブ		3	25	ブランク				
4	送信結果要求	数字	1	28	要求= '1' or 不要= '2'	◎	◎	◎	◎	◎
5	配信情報		22	29						
	5-1	識別番号	英数字	8	29	送信元ユーザーの送信識別の ための任意情報	◎	◎	◎	◎
	5-2	リザーブ		14	37	ブランク				
6	送信先 FAX-NO	英数字	16	51	送信先の FAX 電話番号	◎	◎	◎	◎	◎
7	代替 FAX-NO	英数字	16	67	代替出力先の FAX 電話番号	○	○	○	○	
8	リザーブ		46	83	ブランク					

◎……必須項目 (指定なし又は不正値の場合エラー)

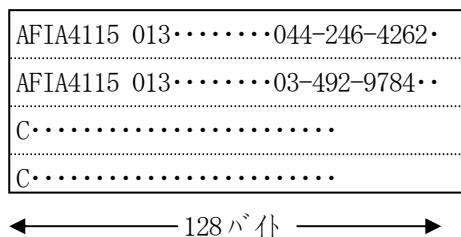
*……バーコード指定時のみ

○……指定があり、かつ正常時のときに有効 (指定がない時は予め登録されている初期値を採用する)

2.2.1 レコード区分

データは、Aレコードを先頭とします。

同報処理は、Aレコードを続けて複数枚用意します。同報処理を行う場合でも各項目は有効です。
同報数は、最大1000件です。



2.2.2 データ区分

FI・・・イメージ方式。

入力データをそのままFAXに出力する場合。

FM・・・マッピング方式。

すでに登録してあるマップの置換フィールド (@の部分) にデータを送信する場合。

MI・・・マップをはじめて登録する場合。

- ※ マップは、マップ識別子1+用紙サイズ+方向+マップ識別子2で区別されます。
従って同じマップでも、A4タテとA4ヨコは別マップになります。
- ※ マップ登録時のデータ区分は、最初の登録時はMIですが更新はMUです。

MU・・・すでに登録されているマップを更新する場合。

- ※ 登録されていないマップを更新しようとするエラーになります。

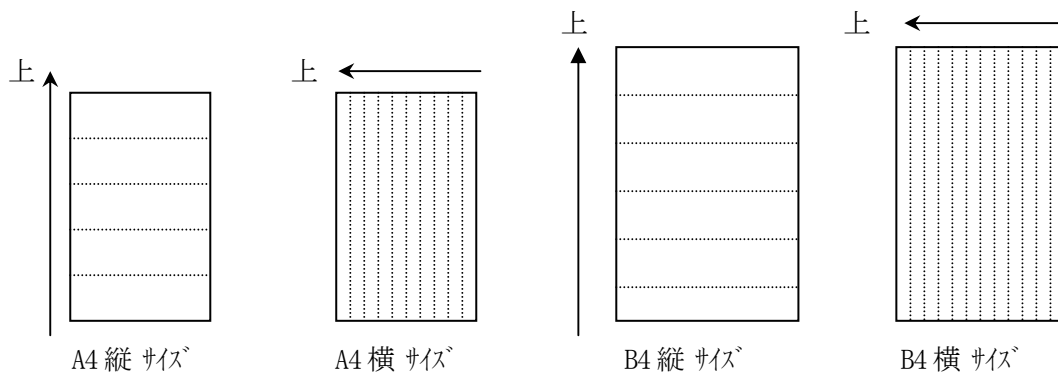
MD・・・すでに登録されているマップを削除する場合。

- ※ 登録されていないマップを削除しようとするエラーになります。

2.2.3 FAX編集情報

用紙サイズと方向

当サービスで使用できる用紙サイズは次の通りです。



左図上の点線は、文字並びイメージを表します。

※ バーコード利用時は、タテのみです。

画質密度

鮮明なファインモードがあります。

漢字コード

E系 … EBCDIC / IBM漢字 利用の場合

J系 … ASCII / シフトJIS 利用の場合

リトライタイプ

— 相手のFAXが話中の場合は、その電話番号に対してリトライを行います。

リトライ回数は最大14回です。

※ 初回のコールを入れて合計15回のダイヤリングが行われます。

— 代替FAXによるリトライ回数も、リトライタイプに従います。

たとえばリトライ '0' を指定しさらに代替FAXを指定した場合は、主FAXに3回コール後代替FAXに3回コールします。

リトライ・パターン

リトライ タイプ	リトライ 回数	リトライパターン	発呼合計回数 /所要時間
0	2	<0>—<1>—<2> 5分 5分	3回 10分
1	8	<0>—<1>—<2>—<3>—<4>—<5>—<6>—<7>—<8> 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分	9回 40分
2	11	<0>—<1>—<2>—<3>—<4>—<5>—<6>—<7>—<8>—<9>—<10>—<11> 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分	12回 55分
3	14	<0>—<1>—<2>—<3>—<4>—<5>—<6>—<7>—<8>—<9>—<10>—<11> 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 5分 —<12>—<13>—<14> 5分 5分 5分	15回 1時間10分
4	5	<0>—<1>—<2>—<3>—<4>—<5> 5分 5分 5分 5分 5分	6回 25分
5	5	<0>—<1>—<2>—<3>—<4>—<5> 10分 10分 10分 10分 10分	6回 50分
6	8	<0>—<1>—<2>—<3>—<4>—<5>—<6>—<7>—<8> 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分	9回 1時間20分
7	11	<0>—<1>—<2>—<3>—<4>—<5>—<6>—<7>—<8>—<9>—<10> 20分 20分 20分 20分 20分 20分 20分 20分 20分 20分	11回 3時間20分
8	14	<0>—<1>—<2>—<3>—<4>—<5>—<6>—<7>—<8>—<9>—<10>—<11> 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 —<12>—<13>—<14> 10分 10分 10分	15回 2時間20分
9	0	<0>	1回のみ

行間隔

FAX出力時の行間隔値を指定することにより、出力可能な行数が異なります。

出力文字数拡大機能を利用した場合は、A4とB4の縦の文字数と行数が増えます。

※ 出力文字拡大機能は、8 出力文字拡大機能 を参照下さい。

用紙サイズ	A4縦	A4横	B4縦	B4横	備考
文字数	80	120	100	136	単位：半角文字
行間隔=10	130	119	169	143	1ページに出力できる 最大行数です。
11	118	108	153	130	
12	108	99	140	119	
13	100	92	130	110	
14	92	85	120	102	
15	86	79	112	95	
16	81	74	105	89	
17	76	70	99	84	
18	72	66	93	79	
19	68	62	88	75	
20	65	59	84	71	
21	61	57	80	68	行間隔にかかわらず、 縦罫線は繋がります。
22	59	54	76	65	
23	56	52	73	62	
24	54	49	70	59	
25	52	47	67	57	
26	50	46	65	55	
27	48	44	62	53	
28	46	42	60	51	
29	44	41	58	49	
30	43	39	56	47	

※ さらに間隔を小さくしたい場合や大きくしたい場合は、マップ登録時の文字飾り
(5. 2. 2 参照) で00～99までの指定が可能です。

マップ識別子

マップは、マップ識別子1+サイズ+方向+マップ識別子2で決まります。従って、同じ顧客コード
では、36 (0～9 A～Z) × 4 (A4 罫/ヨ B4 罫/ヨ) = 144 マップ 登録できます。

マップ識別子1… 送信元顧客コードを指定してください。

なお、このフィールドはユーザー識別のためにも用いられるため、イメージ方式
(データ区分= FI') の時やマップ削除の時にも、必須フィールドです。

マップ識別子2… 0～9、A～Zが指定できます。

バーコード種類

6. バーコード機能 参照。

出力文字拡大

8. 出力文字数拡大機能 参照。

2.2.4 送信結果要求

送信結果要求

結果通知を要求する場合は、ここで指定します。

ただし、送信データがエラーの場合は、送信結果要求を要求していなくても結果通知が返されます。

2.2.5 配信情報

識別番号

お客様側で結果通知の識別を行うために指定します。結果通知Dレコードの配信識別番号にこの値が代入されます。8桁のキャラクター入力が可能です。(※ バイナリーは不可)

2.2.6 FAX番号

送信先FAX-NO/代替FAX-NO

① FAX電話番号(代替も)は必ず市外局番を付加してください。

② 電話番号の許容文字は次のとおりです。

- 数字 (0~9)
- ハイフン (-)
- スペース (但しオールスペースはエラー)

- 0442464262
- 044-246-4262
- 044 246 4262
- × 044(246)4262

③ 送信先FAX-NOがスペースで代替FAX-NOのみがセットされている場合は、エラーとなります。

④ FAX番号エラー、リトライオーバー等のエラーにより未配信となったデータは、代替FAX番号に出力が可能です。

2.2.7 リザーブ

将来のために確保してあるフィールドで、ブランク以外が入力されているとエラーになることがあります。必ずブランクで埋めてください。

- ⑥ 置換フィールドのない登録マップ（Cレコード情報の不要なマップ 例：送付状）をAレコード（又はPレコード）で指定した場合は、その後ろにPレコードを続けることができます。しかし、Aレコードで置換フィールドのある登録マップを指定した場合は、CレコードなしでPレコードを連続させることはできません。

例) A 置換フィールドのないマップを指定	<-----	正常に出力(1頁目)	
P 置換フィールドのあるマップを指定	}	<-----	正常に出力(2頁目)
C			
C&&			

例) A 置換フィールドのあるマップを指定	<-----	編集エラー
P 置換フィールドのあるマップを指定		
C		
C		

2.4 C/M レコード

“C” “M” コード情報レコード・フォーマット

項番	項目	属性	桁数	開始行	内容	FM	FI	MI	MU	MD
1	レコード区分	英字	1	1	FAX出力=C or マップ登録=M	◎	◎	◎	◎	
2	コード情報	英数字	127	2	送信コード・データ及び &&	◎	◎	◎	◎	

- ① Cレコードはイメージ方式、マッピング方式（1. 3 参照）の時の内容情報レコードです。
- ② Mレコードはマップ登録、更新（1. 3 参照）の時の内容情報レコードです。
- ③ 1 頁分のデータの終了には、改頁指示 && を使います。
- ④ 1レコード（128バイト）は、フルにデータを入れてください。

例) イメージ方式でA4タテに出す場合は、幅が80バイトなので1レコード目には出力帳票2行目のデータが入ります。

A
CAAAAAAAAAAAAAAAAAABBBBBBBBBBBBBBBBBB
CBCCCCCCCCCCCCCCCCDDDD&&



FAX 出力

AAAAAAAAAAAAAAAAAAAA
BBBBBBBBBBBBBBBBBB
CCCCCCCCCCCCCCCCCC
DDDD

例) 置き換えのデータが2レコードにまたがっても構いません。

A
CNMS 商会バインダー-N00210 ホキス AAAA50 ペン
Cシル BB02100&&



FAX 出力

NMS 商会		
商品名	種類	数
バインダー	N002	10
ホキス	AAAA	50
ペンシル	BB02	100

⑤ SOSI で囲まれたデータを送信する場合、出力FAX帳票で1行になるデータは2レコードにまたがっても構いません。

A
M@@@@@CRLF 商品名 種類
M 数 CRLF @@@@ @@@@



FAX 出力

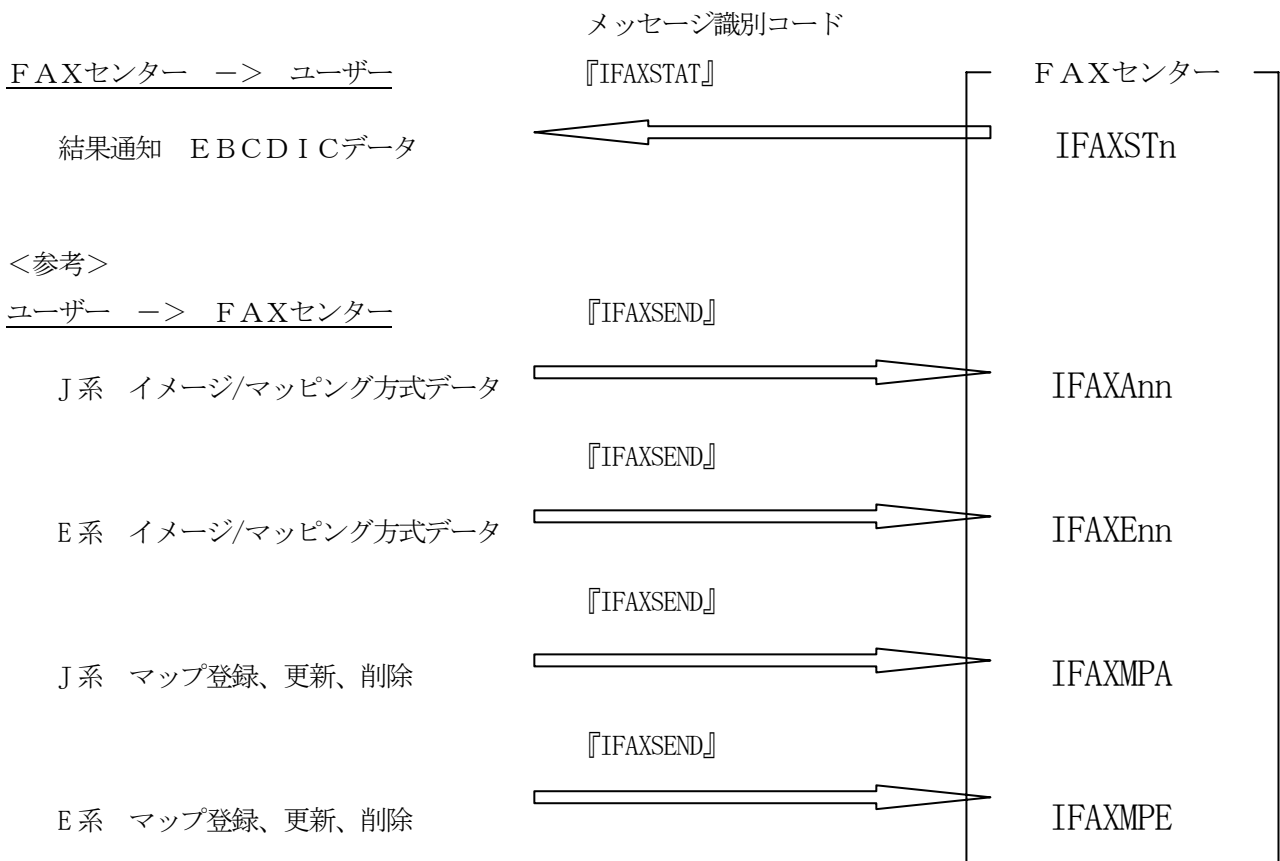
NMS 商会		
商品名	種類	数
バインダー	N002	10
ホキス	AAAA	50
ペンシル	BB02	100

3 受信方法

3.1 受信のしかた (FAXセンター → ユーザーへのデータ形式)

3.1.1 結果通知送信元とメッセージ識別コード

- ① 結果通知送信元は、いずれの場合 (J/E系、マップ登録/更新、イメージ/マッピング方式) も IFAXSTn です。サフィックス (n) は '1' から順次カウント・アップされます。お客様がどのサフィックスの宛先からデータを送信されるかは、登録申請時に割り振られますのでお客様側のシステムは受信時の送信元を、変更できるように設計してください。
- ※ 受信時のサンプル JCL の設定は、添付 2 参照。
- ② 受信データのメッセージ識別コードは『IFAXSTAT』と設定してください。
- ※ 送信時のメッセージ識別コードは『IFAXSEND』です。2.1.1 参照。



※ IE ユーザーは、各所属ブリッジ (IEEX00n) 経由で送信されます。

3.1.2 結果通知データ

- ① FAX出力の結果（エラー通知も含む）は、IE/EXを経由して送信元ユーザー宛に送られます。
- ② 結果通知データは80バイトの固定長です。（※ 送信データは128バイトです。2.1.2 参照）
- ③ 結果通知データ形式は、“H”で始まる結果通知のヘッダーレコードと“D”で始まる情報レコードからなり、15分間隔でFAXセンターより送られてきます。15分間に蓄積された結果通知は、まとめて送られます。

80バイト			
HIFAXSTAT IFAX	IFAXSTn ISBC.....	←結果通知ヘッダーレコード	
DFI イメージホウキ	000442464262.....930810 1000.....	←結果通知情報レコード	93/08/10 10:00
DMI マップトラウク	000334929784.....930810 1012.....	←結果通知情報レコード	93/08/10 10:12
HIFAXSTAT IFAX	IFAXSTn ISBC.....	←結果通知ヘッダーレコード	
DFM マッピング	110442464262.....930810 1045.....	←結果通知情報レコード	93/08/10 10:45
DFM ダイタイNo	010442464262.....930810 1050.....	←結果通知情報レコード	93/08/10 10:50

- ④ データ形式は、EBCDICで送られてきます。ASCII、シフトJISで利用する場合は変換する必要があります。
- ⑤ 結果通知ファイルは、その時点でFAX出力終了していたレコードを対象とします。対象レコードがない場合は、結果通知レコードは作成されません。
- ⑥ データ内容
 - エラー通知
 - 不達通知
 - 正常結果通知（オプション/ファイルヘッダーで要求してある場合）

エラー通知及び不達通知はファイルヘッダーで要求しなくても送信され、料金はかかりません。正しくFAXされた（エラー・コードが00 又は01）時の結果通知が欲しい場合のみ、ファイルヘッダーで要求し、結果通知が送信されるようにします。

※ エラー・コードは3.4 参照。

3.2 Hレコード

“H”レコード結果通知ヘッダーレコード・フォーマット

項番	項目	属性	桁数	開始行	内容
1	レコード区分	英字	1	1	固定 'H'
2	メッセージ識別コード	英数字	8	2	固定 'IFAXSTAT'
3	リザーブ		1	10	ブランク
4	FAXセンター顧客コード	英数字	8	11	'IFAX'
5	FAXセンターユーザーID	英数字	8	19	'IFAXSTn'
6	送信元顧客コード	英数字	8	27	
7	送信元ユーザーID	英数字	8	35	
8	リザーブ	英数字	38	43	ブランク

メッセージ識別コード

メッセージ識別コードは、'IFAXSTAT'の固定です。

FAXセンター顧客コード

FAXセンター顧客コードは、'IFAX'の固定です。

FAXセンターユーザーID

FAXセンターユーザーIDは、'IFAXSTn'の固定です。(3.1.1 参照)

送信元顧客コード・送信元ユーザーID

送信元顧客コード・送信元ユーザーIDは、お客様の顧客コードとユーザーIDです。

Ixxx Ixxxvyy
顧客コード ユーザーID

3.3 Dレコード

“D” 結果通知情報レコード・フォーマット

項番	項目	属性	桁数	開始桁	内容
1	レコード区分	英字	1	1	固定 'D'
2	データ区分	英数字	2	2	マップ方式 FAX 出力 = 'FM' イメージ方式 FAX 出力 = 'FI' マップ登録 = 'MI' マップ更新 = 'MU' マップ削除 = 'MD'
3	配信識別番号	英数字	8	4	送信元ユーザーの送信識別のための任意情報
4	最終処理結果	英数字	2	12	'00' = 主 FAX 電話番号で正常終了 '01' = 代替 FAX 電話番号で正常終了 その他 = エラー・不達
5	最終 FAX-NO	英数字	16	14	最終送信先の FAX 電話番号
6	配信開始時刻	数字	12	30	FAX 出力開始時刻
7	配信終了時刻	数字	12	42	FAX 出力終了時刻
8	編集枚数	数字	3	54	FAX 編集枚数
9	エラー FAX-NO	英数字	16	57	エラー終了した主 FAX 電話番号 (代替使用時)
10	エラー・コード	英数字	2	73	主 FAX 電話番号のエラーコード (代替使用時)
11	リザーブ	英数字	6	75	使用不可

データ区分

すでに送信したデータの Aレコード (送信時のヘッダーレコード) のデータ区分を出力します。

- ※ 仮にデータ区分を間違えた場合は、ここに指定したデータ区分が返り、エラー・コード '93' 配信先データ区分なしが返ります。

配信識別番号

すでに送信したデータの Aレコード (送信時のヘッダーレコード) の配信識別番号を出力します。送信したデータを識別するためのキーとなります。

最終処理結果

最終的に処理が行われた FAX の処理結果を出力します。すでに送信したデータの Aレコード内で、送信先 FAX-NO の指定のみの場合は、主 FAX に対するエラー・コードを最終処理結果に出力します。代替 FAX-NO の指定があった場合、主 FAX で正常に FAX 出力した時は、主 FAX に対する処理結果 ('00') が、代替 FAX で正常に FAX 出力した時は、代替 FAX に対する処理結果 ('01') が最終処理結果に出力されます。

最終FAX-NO

項番4の最終処理結果のFAX番号。

配信開始時刻・配信終了時刻

FAXセンターからデータを送り出した時刻及び、実際にFAX送信終了後FAXセンターへ結果が返った時刻です。配信開始時刻の秒は‘00’の固定（秒切り捨て）です。配信終了時刻は、実際の通信時間を、配信開始時刻に加えた時刻です。

配信開始時刻から配信終了時刻までの通信時間は、秒を含めた正しい値です。

編集枚数

FAXセンターでの編集が正常に終了した枚数を出力します。最終処理結果が‘00’又は‘01’の場合は、FAX配信枚数になります。‘06’、‘11’、‘15’等のエラーの場合は、編集処理枚数になります。

（エラーの場合は、全て又は一部がFAX配信されていない場合があります。）

※ 最大編集枚数は、255枚です。最大編集枚数を越えた場合、エラー・コードは‘54’となります。

エラーFAX-NO

項番10のエラー・コードが処理されたFAX番号。

エラー・コード

代替FAX-NOを指定した時のみ出力され、正常に出力できなかったFAXに対するエラー・コードです。主FAXで出力できず代替FAXでFAX出力した場合に、主FAXのエラー・コードが出力されます。また、主FAX、代替FAX共に正常終了しなかった場合も、項番10のエラー・コードには主FAXに対するエラー・コードが出力されます

主FAX番号	代替FAX番号	項番4 最終処理結果	項番5 最終FAX-NO	項番10 エラー・コード	項番9 エラーFAX-NO
OK	—	00	主FAX番号	ブランク	ブランク
NG	—	エラー・コード	主FAX番号	ブランク	ブランク
NG	OK	01	代替FAX番号	エラー・コード	主FAX番号
NG	NG	エラー・コード	代替FAX番号	エラー・コード	主FAX番号

3.4 エラー・コード一覧

項番4（最終処理結果）／項番10（エラー・コード）にセットされるエラー・コードです。

処理結果	内容	原因	対応
00	FAX 配信完了	正常終了	—
01	代替 FAX にて配信完了	正常終了	—
06	回線エラー	公衆回線品質不良等	相手 FAX 確認後、再配信
07	FAX センターエラー	システム内部エラー	ヘルプデスクへ連絡
08	FAX ユーザー利用不可	ユーザー使用禁止	ヘルプデスクへ連絡
11	FAX ビジー	話し中／紙切れなど	相手 FAX 確認後再配信
15	FAX No. エラー	相手が FAX でない	相手 FAX No 確認後再配信 *
20	編集環境設定エラー	システム環境異常	ヘルプデスクへ連絡
21	FAX 受信ファイル処理エラー	システム環境異常	ヘルプデスクへ連絡
22	FAX 送信ファイル処理エラー	システム環境異常	ヘルプデスクへ連絡
23	FAX センター側編集エラー	編集システム異常	ヘルプデスクへ連絡
24	編集エラー（レコードシークンエラー）	ユーザーデータエラー/システムエラー	ユーザーデータ修正
25	ファイルヘッダーだけで内容データなし	ユーザーデータエラー/システムエラー	ユーザーデータ修正
26	ファイルヘッダー項目指定エラー	ユーザーデータエラー/システムエラー	ユーザーデータ修正
27	テキスト終了条件指定エラー	ユーザーデータエラー/システムエラー	ユーザーデータ修正
28	置換フィールドの max 数エラー	ユーザーデータエラー/システムエラー	ユーザーデータ修正
50	マップ指定エラー	ヘッダーレコード設定エラー	ユーザーデータ修正
51	マップ登録エラー	ヘッダーレコード設定エラー	ユーザーデータ修正
52	マップ更新エラー	ヘッダーレコード設定エラー	ユーザーデータ修正
53	マップ削除エラー	ヘッダーレコード設定エラー	ユーザーデータ修正
54	編集枚数 max 数エラー	ユーザーデータエラー	ユーザーデータ修正
91	ヘッダー無し	データの先頭がヘッダーでない	ユーザーデータ修正
92	配信先データ区分登録なし	ヘッダーレコード設定エラー	ユーザーデータ修正（データ区分=）
93	配信先データ区分登録なし	ヘッダーレコード設定エラー	ユーザーデータ修正（データ区分の誤り）**
94	FAX-NO 未設定	ヘッダーレコード設定エラー	ユーザーデータ修正
95	FAX-NO 禁止文字指定	ヘッダーレコード設定エラー	ユーザーデータ修正 ***
96	送信元顧客コードエラー	ヘッダーレコード設定エラー	ユーザーデータ修正
99	その他	システム環境設定ミス	ヘルプデスクへ連絡

* : 0990（ダイヤルQ2）等には送信できません。このエラー・コードになります。

** : たとえば、宛先(IFAXxxx)とデータの区分 Unmatch などの場合

*** : 海外向けの FAX、及び市外局番の指定のない FAX No への出力要求があった場合もこのエラー・コードになります。

※ 今後の拡張で、処理結果のコードは追加となる可能性があります。

00～99 を対応できるようにしておいてください。

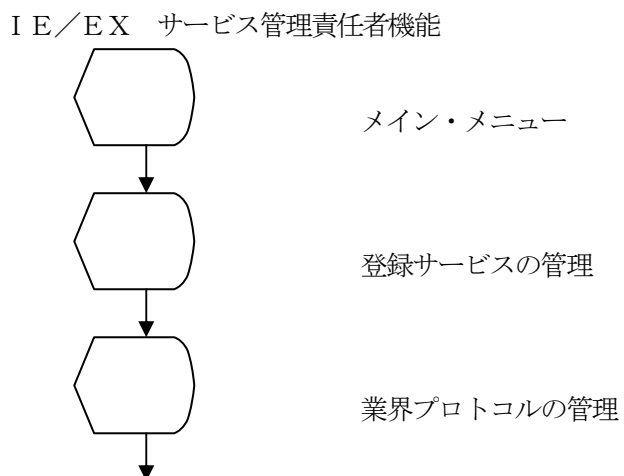
3.5 結果通知先変更

3.5.1 結果通知先変更の指定方法

結果通知を、指定したユーザーIDへ返すことができます。

通常は、FAXデータ送信ユーザーIDへ結果通知が返されます。(登録申請時に登録が追加されます。)

現在登録済みの結果通知先ID ISBC001 を ISBC00A に変える場合は、下記の通り変更してください。



ISBC001 の通信コードを削除します。

・業界プロトコルの管理

『業界プロトコルの管理』メニュー内の『通信コード/別名の削除』を選びます。

現在登録済みの結果通知先の顧客コード・ユーザーIDを入力します。(ISBC, ISBC001)

J9500JP	業界プロトコルの管理
顧客コード	ISBC (必須項目)
ユーザー ID	ISBC001 (必須 : 1, 2, 3)
	1. 通信コード/別名の登録
	2. 通信コード/別名の照会/更新
	3. 通信コード/別名の削除
	4. データ種別/ファイル名の一覧
番号 ==> 3	
F1= ヘルプ	F3= 保管・終了 F4= 保管・メイン

・通信コード／別名の削除

すでに登録済みの通信コード／別名を削除します。

該当登録の LNE CMD フィールドに 'D' を入力し、PF3 を押します。

J9517JP		通信コード／別名の削除		
顧客コード / ユーザー ID . . . ISBC		/ ISBC001	所属システム区分 . . . I1	
LNE	PROT	HEX	識別子	(全銀用)
CMD	TYPE	(H)	通信コード	パスワード (HEX フィールド)
説明				
D	ALT		ISBC001	()
-				()
-				()
-				()
-				()
D : 削除				
番号 ==>				
F1= ヘルプ F3= 保管・終了 F4= 保管・メイン F12= 取消				

ISBC00A の通信コードを登録します。

・業界プロトコルの管理

『業界プロトコルの管理』メニュー内の『通信コード／別名の登録』を選びます。

新しく結果通知先となる顧客コード・ユーザー ID を入力します。(ISBC, ISBC00A)

J9500JP		業界プロトコルの管理		
顧客コード ISBC		(必須項目)		
ユーザー ID ISBC00A		(必須 : 1, 2, 3)		
1. 通信コード／別名の登録				
2. 通信コード／別名の照会／更新				
3. 通信コード／別名の削除				
4. データ種別／ファイル名の一覧				
番号 ==> 1				
F1= ヘルプ F3= 保管・終了 F4= 保管・メイン				

・通信コード／別名の登録

『通信コード／別名の登録』画面にてPROT TYPEに 'ALT' と指定し、通信コードにFAXデータ送信ユーザーIDを入力し、PF3を押します。結果通知先が変更されます。

顧客コード / ユーザー ID		ISBC 識別子	/ ISBC00A	所属システム区分 . . I1
LNE	PROT HEX	識別子	(全銀用)	
CMD	TYPE (H)	通信コード	パスワード (HEX フィールド)	説明
-	ALT_	ISBC001	_____ (_____)	_____
-	_____	_____	_____ (_____)	_____
-	_____	_____	_____ (_____)	_____
(LINE	_____	_____ (_____))

R : 反復 プロトコルタイプ エリア (ALT のみ入力)

番号 ==>
 F1= ヘルプ F3= 保管・終了 F4= 保管・メイン F12= 取消

3.5.2 注意点

- すでに、お客様が申請したIDと同じIDを別名 (ALT) として登録してあります。別名を変更しないかぎり、登録されている別名を絶対に削除しないでください。
(結果通知が返らなくなります。)
- 別名 (ALT) を変更して、送信者と異なるユーザーIDで結果通知を受信する場合は、そのIDを『NMS<IE/EX> FAXインターフェース登録申請書』にて登録してください。
IFAXSTnとのパートナー・リストが必要となります。

4 イメージ方式

4.1 イメージ方式でできること

送られてきたユーザー・データをそのまま出力するのが、イメージ方式です。

従って、見出し等を含めて毎回出力データを全て送信することになります。

※ マップ登録で使う置換フィールド(変数フィールド)、文字飾り、罫線は使えません。

4.2 イメージ方式の使い方

4.2.1 イメージ方式データの作成

① 最初の128バイトにAレコードの送信情報をのせ、以降1バイト目を 'C' にして128バイトごとのデータを作成します。

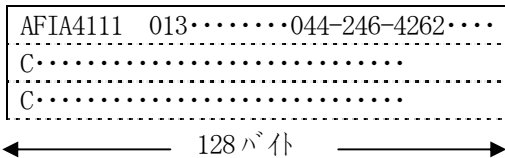
② FAXデータは、J系/E系のどちらでも構いません。

ただし、J系/E系では送信する際の宛先と、Aレコードの指定が異なります。

※ 間違えるとエラーになります。

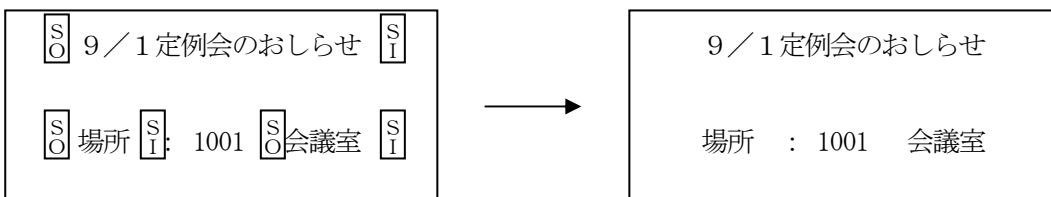
E=1 E系の場合は1を指定

↓J=5 J系の場合は5を指定



③ E系で漢字を出力する場合は、SOSIによるMIXED形式データを作成します。

この時、SOSIは空白に変換されます。



④ 一行の文字数は用紙サイズにより固定されます。(2. 2. 3 参照)

⑤ 行間隔は、“A”ファイルヘッダーレコードの設定によります。(2. 2. 3 参照)

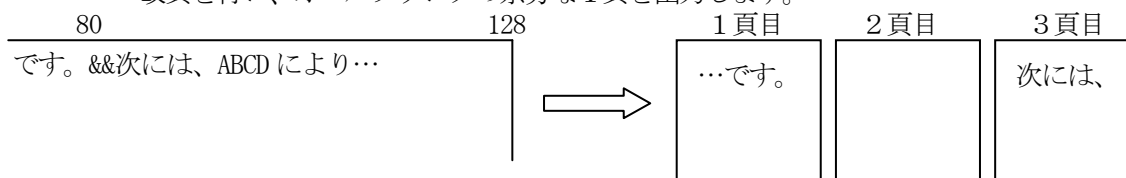
⑥ 改行

FAXデータ中に改行指示 **CRLF** (E系 X'0D25') (J系 X'0D0A') があると改行出力します。
また、改行指示がなくても一行の最大文字数に至った時には自動改行します。

⑦ 改頁

FAXデータ中に改頁指示 **FF** (E系 X'0C'・1バイト) (J系 X'0C'・1バイト) 又は **&&** (キャラクター・2バイト) があると改頁します。頁の途中でFF/&& がある場合は、その頁の残りはブランクになります。ただし、データが1頁分を満たした時はFF/&& がなくても改頁します。

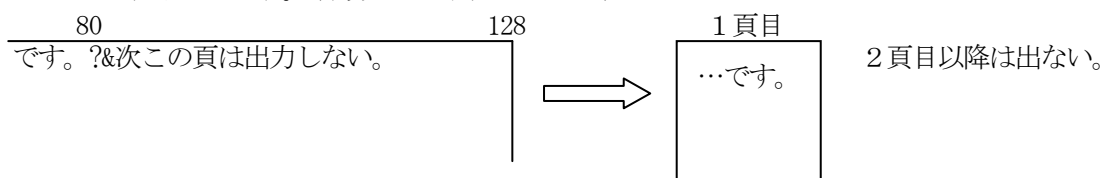
※ 最終行が最大文字数 (例えば、A4縦の場合80文字) + && のときは && が有効になるため、改頁を行い、オールブランクの余分な1頁を出力します。



⑧ 頁終了

全ての頁が終了した場合は、**ETX** (E系 X'03'・1バイト) (J系 X'03'・1バイト) 又は **?&** (キャラクター・2バイト) をセットしてください。

※ 最終行が最大文字数 (例えば、A4縦の場合80文字) + ETX のとき、当該頁でテキスト終了とします。(余分な頁は出力しません)



4.2.2 イメージ方式の送信

FAXデータは、J系/E系のどちらでも構いません。ただし、J系/E系では送信する際の宛先とAレコードの指定が異なります。間違えるとエラーになります。

宛先 J系は IFAXAnn

AFIA4115

C

C

C

E系は IFAXEnn

AFIA4111

C

C

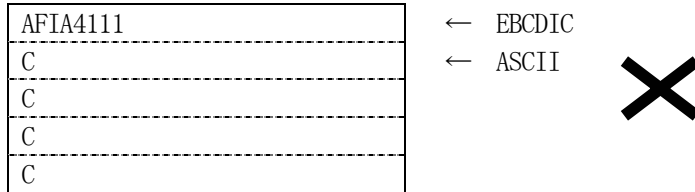
C

4.3 イメージ方式の注意点とポイント

① IBMの漢字の場合、JIS第一水準、第二水準にないものは『■』でFAX出力されます。
また、外字は登録・使用できません。

② FAXデータは、ヘッダー・制御文字を含め全て同一コード系（J系/E系の混在は許さない）で統一する必要があります。

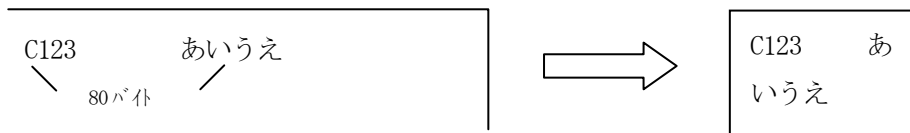
使用不可の例：



③ 罫線はサポートしていません。

※ マップは、罫線をサポートしています。5. 2 参照。

④ 帳票の最大文字数（例：A4縦の場合80文字目）が2バイト文字の1バイト目の時、当該文字は次行に印字されます



⑤ イメージ方式サンプル

1宛先目

A	FIA4115	0	13	INMB	xxx-xxx-xxxx
C	コード情報		コード		1 頁目
C				FF	2 頁目
C				ETX	ブランク

2宛先目

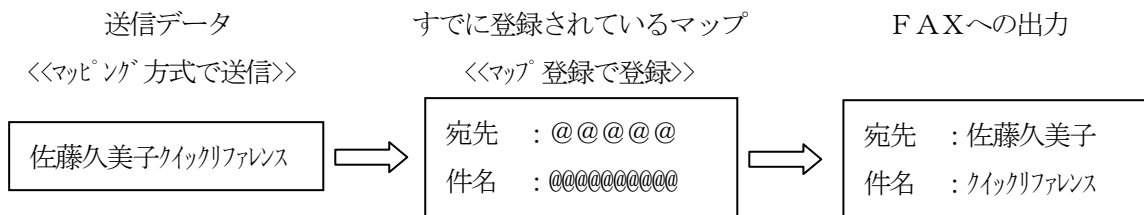
A	FIA4125	0	13	INMB	yyy-yyy-yyyy
C	1 頁目		;&&	2 頁目	
C				?&	ブランク

128バイト

5 マップ登録

5.1 マップ登録でできること

マップを事前に登録し、毎回データが変わる個所を置換フィールドとして、@マークで指定しておくことができます。登録後マッピング方式で（7 参照）置換フィールドにデータのみを送信し、マッピング編集をすることができます。@マークは、2バイト文字／1バイト文字どちらも使用可能です。



5.2 マップ登録の使い方

5.2.1 マップ登録のしかた

① 最初の128バイトにAレコードの送信情報をのせ、以降1バイト目を 'M' にし128バイトごとのデータを作成します。

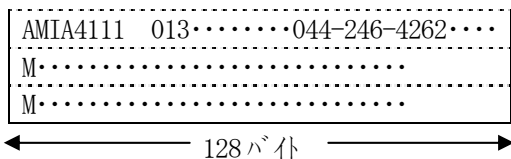
② FAXデータは、J系/E系のどちらでも構いません。

ただし、J系/E系では送信する際の宛先及びAレコードの指定が異なります。

※ 間違えるとエラーになります。

E=1 E系の場合は1を指定

↓J=5 J系の場合は5を指定



- ③ マップの識別は、『マップ識別子1 + 用紙サイズ・方向 (Aレコードでの指定) + マップ識別子2』で行われます。従って、マップ識別子2 (例えば 'A') を用いて、次の4種類のマップを登録できます。

	マップ識別子1	用紙サイズ・方向	マップ識別子2
『A 4 縦』	… IABC	A4 縦	A
『A 4 横』	… IABC	A4 横	A
『B 4 縦』	… IABC	B4 縦	A
『B 4 横』	… IABC	B4 横	A

※ 1顧客コード単位で

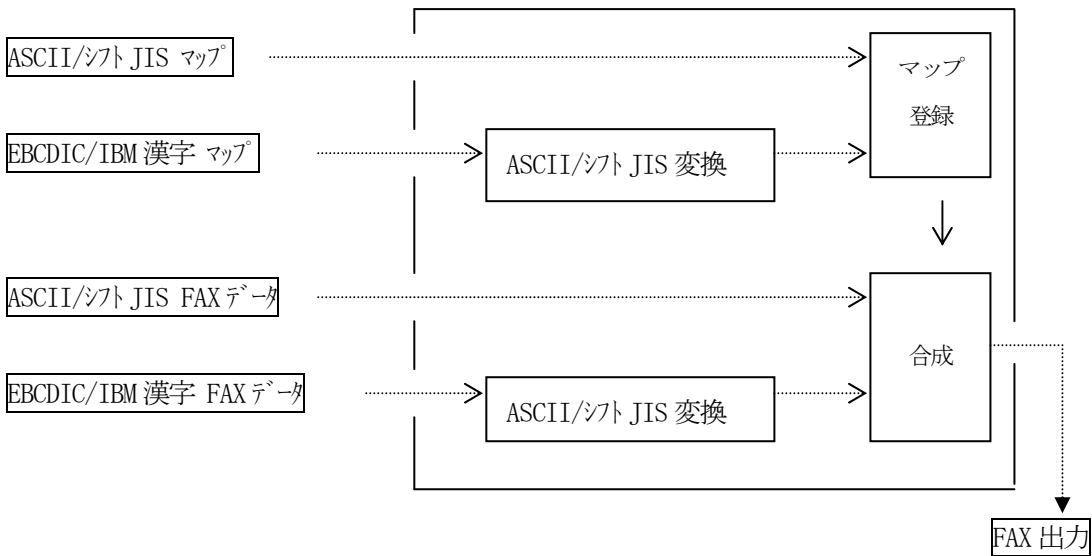
36 マップ (0-9 A-Z) × 4 (A4 縦/A4 横/B4 縦/B4 横) = 144通りの
マップ登録ができます。

- ④ 一行の文字数是用紙サイズにより固定されます。
- ⑤ 行間隔は、“A” ファイルヘッダーレコードの設定によります。(2. 2. 3 参照)
- ⑥ 文字飾り 'W' を利用することで途中で行ピッチの変更ができます。
※ 文字飾りはマップ登録/更新時のみ使えます。
- ⑦ E系データ/マップは、FAXセンター内でJ系データ/マップに変換されます。
従って、J系で登録されたマップに、E系のマッピングデータを送ることが可能です。
また、E系で登録されたマップに、J系のマッピングデータを送ることも可能です。

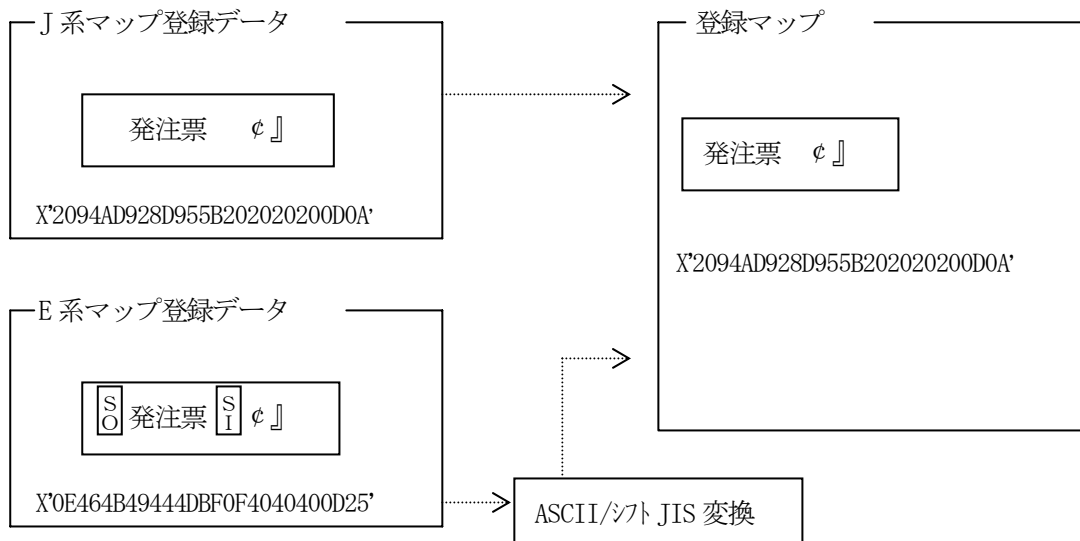
マップ登録と文字コードの変換

概要図

FAX センター

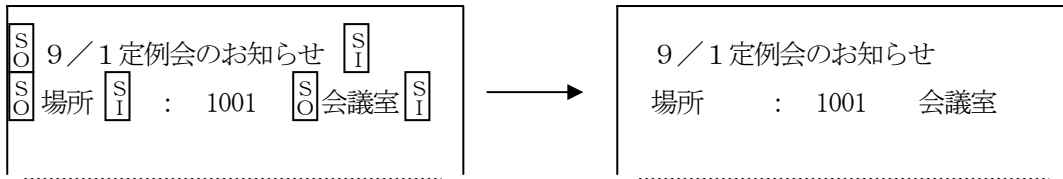


マップ文字コード変換サンプル

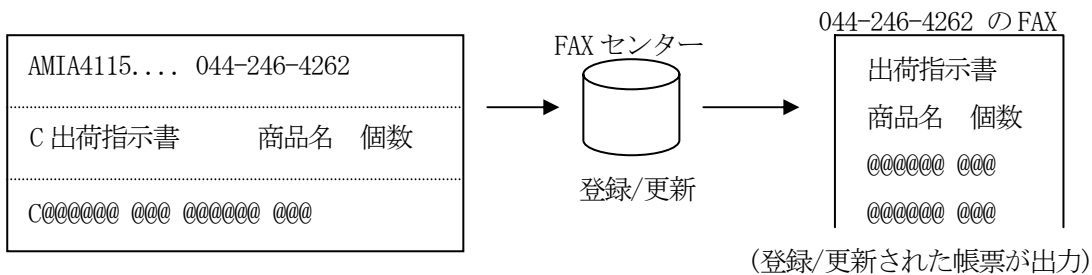


注： ¢ : CR
 』 : LF

- ⑧ E系でのマップ登録においては、全角文字の表現はS O S IによるM I X E D形式で行います。
 この時S O S Iは空白に変換されます。 ※ 置換フィールドの項5.2.4 参照。



- ⑨ マップを登録・更新した時は、自動的にマップのF A X出力を行います。
 出力先は、ヘッダーレコードで指定します。



⑩ 改行

FAX データ中に改行指示 **CRLF** (E系 X'0D25') があると、改行出力します。
 また、改行指示がなくても一行 (J系 X'0D0A') の最大文字数に至った時には自動改行します。

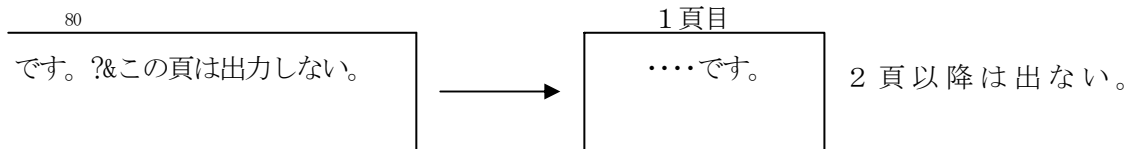
⑪ 改頁

マップは1頁単位の登録のため、利用できません。

⑫ 頁終了

マップデータが終了した場合は **ETX** (E系 X'03'・1バイト) または **?&** (J系 X'03'・1バイト) 又は **?&** (キャラクター・2バイト) を必ずセットしてください。

※ 最終行が最大文字数 (例えば、A4 縦の場合 80 文字) + E T X のとき、当該頁でテキストの終了とします。余分な頁は出力しません。



5.2.2 文字飾り

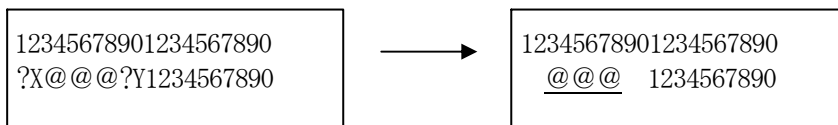
① マップ登録では下記の特種編集が可能です。 イメージ/マッピング方式のデータ内では使用できません。

順番	制御文字	内容	備考
1*	?0	拡大(横倍角)	拡大する文字数だけ?I'の後ろの文字を削除するので空白を挿入しておく必要があります。
	?I	拡大解除	
2	?X	アンダーライン開始	アンダーラインの種類は1種類です。
	?Y	アンダーライン解除	
3	?!	強調文字開始	線が太くなります。
	?”	強調文字解除	
4	?D	罫線記号禁止	“?D’から“?E’の間ではコード変換が行われません。(罫線文字の変換が行われません)
	?E	罫線記号許可	
5	?Wnln2	行間値の設定	1/120 1/4単位 00<nln2<99
6	?V	縦書きモード	以降の漢字コードの文字を縦書きにします。
	?H	横書きモード	初期状態はこのモードです。
7*	?P	4倍角開始	罫線行の中で4倍角を指定すると1行増えます。
	?J	4倍角解除	
8*	?B	バーコード開始	以降の英数字をバーコードに変えます。バーコード詳細は6.3 参照
	?K	バーコード終了	
9*	?C	バーコード文字開始	以降の英数字をバーコード文字に変えます。バーコード文字詳細は6.3 参照
	?L	バーコード文字終了	

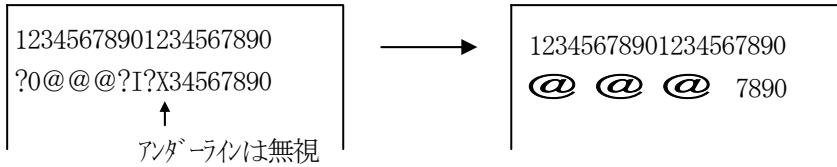
※ 横倍角/4倍角/バーコード/バーコード文字については、制御を解除するまでは、他の文字飾り予約キャラクターは使用できません。

?0?!使用不可?I ?B?X 使用不可?YK”

- ② 基本的に ‘?’_’ は、将来の拡張のため全てリザーブされています。
従って、登録マップ中では特殊編集目的以外には ‘?’_’ を固定的に指定しないようにしてください。
- ③ 制御文字 ‘?’_’ は全て半角スペース2バイトに変換されます。



- ④ 横倍角・4倍角が指定された場合には、拡大する文字数分後ろの文字を上書きするため、スペースなどを挿入しておく必要があります。もし、拡大する文字数内のエリアに文字飾り・置換フィールドが指定されていた場合には、上書きされるためこれらは無効になります。なお、上書きされるエリアには全て半角文字を入れておいてください。



※ 上書きエリアに2バイト文字があると桁ずれ、文字化けが生じる可能性があります。

- ⑤ 置換フィールドに対しても、文字飾りの特殊編集は有効です。
- ⑥ 横倍角、4倍角指定による拡大編集に、拡大解除指定以外の他の文字飾り制御文字が来た場合、その編集結果は保証できません。
- ⑦ 拡大指定の中にあるS O S Iはそれぞれ2バイトのブランクになります。
- ⑧ サンプル (J系でのサンプル)

登録マップ上の指定

123456789012345678901234567890

?0 F A X サンプル?I901234567890

123456789012345678901234567890

?X F A X サンプル?Y901234567890

123456789012345678901234567890

?P F A X サンプル?J901234567890

123456789012345678901234567890

?X?0 F A X サンプル?I1234?Y7890

FAX 出力イメージ

123456789012345678901234567890

F A X サンプル 34567890

123456789012345678901234567890

F A X サンプル 901234567890

123456789012345678901234567890

F A X サンプル 34567890

123456789012345678901234567890

F A X サンプル 7890

5.2.3 罫線サポート

登録マップ中にセットされた下記罫線キャラクターは、罫線に置き換えられます。

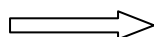
順番	登録マップ中の文字 (半角)			FAX 出力時の罫線
	文字	EBCDIC	ASCII	
1	!	X' 5A'	X' 21'	┌
2		X' 4F'	X' 7C'	├
3	%	X' 6C'	X' 25'	└
4	&	X' 50'	X' 26'	┐
5	-	X' 60'	X' 2D'	━
6	#	X' 7B'	X' 23'	└┐
7	”	X' 7F'	X' 22'	└┘
8	;	X' 5E'	X' 3B'	┘└
9	*	X' 5C'	X' 2A'	┘┐
10	=	X' 7E'	X' 3D'	┘└
11	+	X' 4E'	X' 2B'	┘┐

サンプル

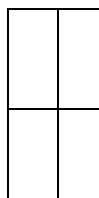
登録マップ中での登録

```

!-=-*
| | |
%+-;
| | |
&#- “
    
```



FAX 出力時



※ マップ登録、更新時に罫線は有効です。行間隔にかかわらずに縦横線は繋がります。

5.2.4 置換フィールド

① 登録マップ中にセットされた下記置き換え文字のフィールドは、入力データにより置き換えられます。

種類	ANK	漢字
キャラクタ	@	@
文字サイズ	半角	全角

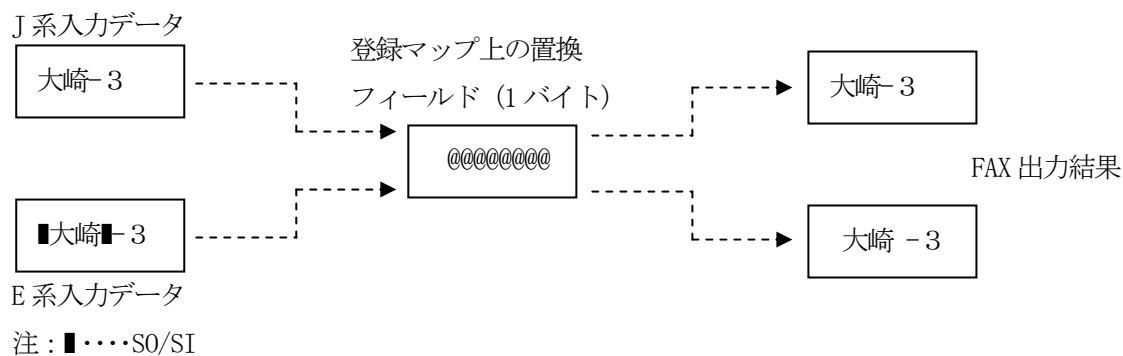
② 置換フィールドに対しても、文字飾りの特殊編集は有効です。

③ 1行中に指定できる置換フィールド項目の最大は40項目です。

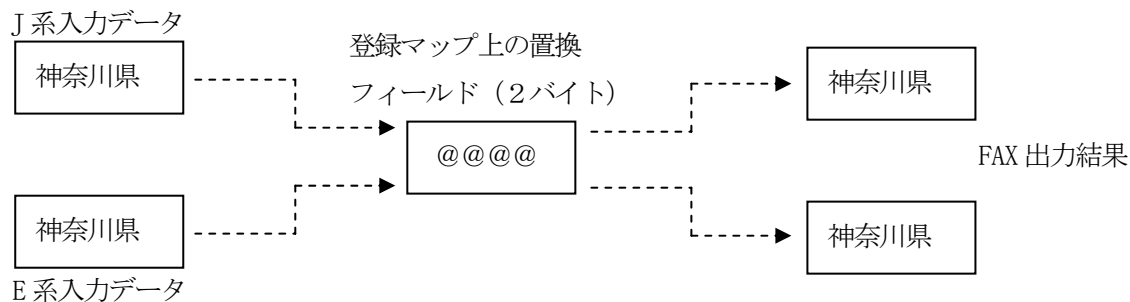
④ 1頁中に指定できる置換フィールド項目の最大は1000項目です。

⑤ マッピング方式の2バイト文字はSOSIなしです。 (下記、置き換えサンプル2 参照)

置き換えサンプル1



置き換えサンプル2



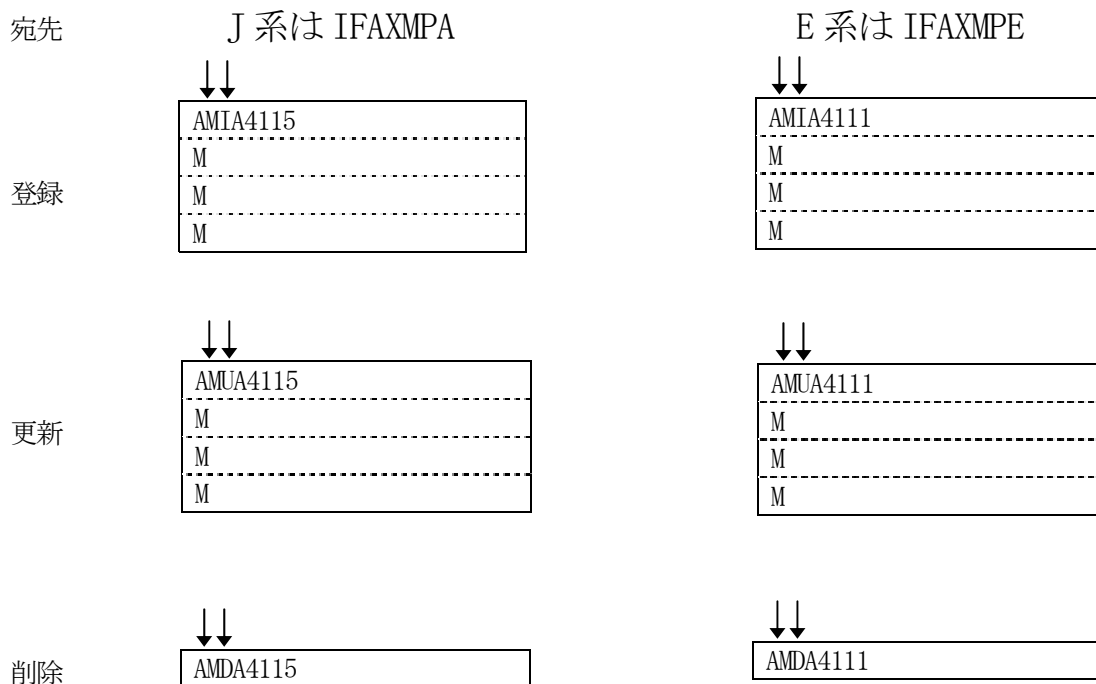
5.2.5 マップ登録/更新/削除の送り方

FAXデータは、J系/E系のどちらで登録しても構いません。

登録/更新/削除は、データ区分で指定します。

ただし、J系/E系では送信する際の宛先及びAレコードの指定が異なります。

※ 間違えるとエラーになります。



5.3 マップ登録の注意点とポイント

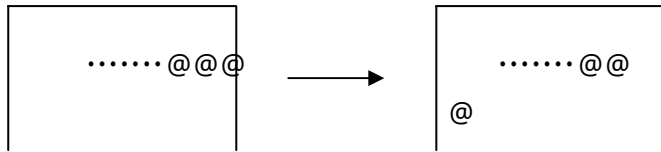
- ① マップ登録では、@マークを置換フィールドとして認識します。よってマップ中に@@を使用しないことをお勧めします。ただし、どうしてもという場合は『@』が必要な場所を置換フィールドにしておき、マッピングデータで@マークを送信する方法もあります。
- ② マップ登録では ?_ を文字飾りとして予約してありますので、帳票中に ? を使わないで下さい。無効なものが入力されると帳票が正常出力しません。
- ③ 罫線作成記号 !-=%+;&#” は、そのままでは罫線の記号になってしまいます。このため、本来の記号として利用したい場合は、罫線記号禁止 ?D と罫線許可記号 ?E で囲む必要があります。
- ④ マップ更新/削除は『マップ識別子 (顧客コード) + サイズ + 方向 + マップ識別子 (マップ番号)』の組合わせで対象マップを特定します。自分が登録してあるマップの控えを取っておくことをお勧めします。添付に『登録マップ一覧控え』をつけてありますのでご利用ください。
- ⑤ マップ登録・更新の“A”ファイルヘッダーレコードで指定された行間隔と用紙サイズから、求められる行数 (最大行数) を超えた分は破棄されます。また、' ?Wnn' で行間隔の変更を行うとその時点で残行数が再計算され、この行数を超えた分は破棄されます。

あ	あ	あ	97	例：A4 縦・WIDTH=13 (最大行数=100)
い	い	い	98	
う	う	う	99	
え	え	え	100	
お	お	お	101	←破棄

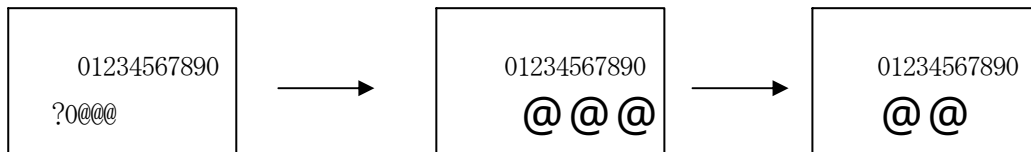
4倍角指定された場合には、その行は2行として扱われます。そのため、最大行数分満たされたデータの中に4倍角の指定がある場合、4倍角のある行数分データが破棄されます。

入力行数		実出力行数		
↓		↓		
96	あ	あ	96	例：A4 縦・WIDTH=13 (最大行数=100)
97	い	い	97	
98	う	う	98, 99	
99	え	え	100	
100	お	お	101	

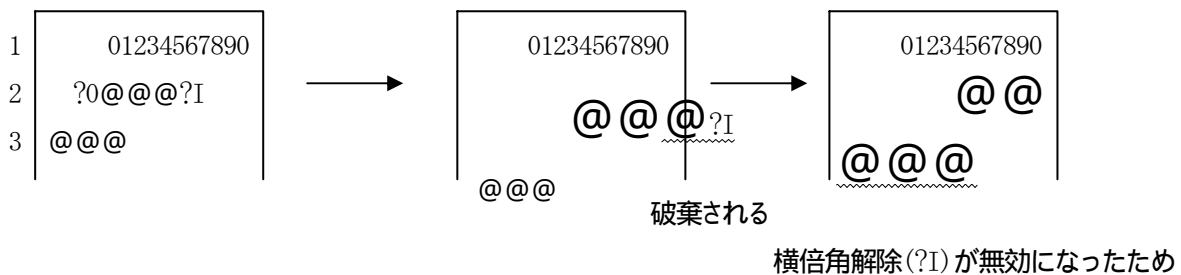
- ⑥ 帳票の最大文字数目（例：A 4縦の場合80文字目）が2バイト文字（置換フィールド@もその対象です）の時、当該文字は次行に印刷されます。



- ⑦ 帳票の最大文字数目（例：A 4縦の場合80文字目）が横倍角指定・4倍角指定による4バイト文字の時、当該文字以降の該当行のデータは破棄されます。



このため、当ケースにて破棄されたデータ内に文字飾り制御文字が含まれている場合、その制御は無効となります。



- ⑧ マップ登録サンプル

マップ登録・更新データ

1 マップ目登録	A	MIA4115 013 INMB	A...××××-××××-××××	マップ A
	M	コード情報レコード		
2 マップ目登録	M		∴ EXT ∴ ブランク	マップ B
	A	MUA4115 013 INMB	B...××××-××××-××××	
	M		∴ ?& ∴ ブランク	
128 バイト				

※ マップの終了には EXT ?& を入力する。

マップ削除データ

A	MDA41	INMB	B...××××-××××-××××
128 バイト			

6 バーコード機能

6.1 バーコードでできること

マップ登録の文字飾りでバーコードやバーコード文字を指定することにより、入力した英数字がバーコード/バーコード文字に変換されて、FAXに出力されます。



6.2 利用できるバーコード種類

- 2 OF 5 STANDARD
- 2 OF 5 INTERLEAVED
- NW-7
- CODE39
- JAN/SHORT
- JAN/CODE

	使用する文字
① 2 OF 5 STANDARD	数字('0' ~ '9') 1~45桁
① 2 OF 5 INTERLEAVED	数字('0' ~ '9') 1~45桁
② NW-7 NW-7はスタート・ストップとしてアルファベットを使います。 例) A123456789A	数字('0' ~ '9') 記号(-\$.+/*¥) アルファベット(A~E, N, T) 1~45桁
③ CODE39 CODE39はスタート・ストップとして '*' を使います。 例) *123456789*	数字('0' ~ '9') 記号(-\$.+/*¥) アルファベット(A~Z) 1~45桁
⑤ JAN/SHORT	数字('0' ~ '9') 7文字固定 チェックデジットは自動付加されます
⑥ JAN/CODE	数字('0' ~ '9') 12文字固定 チェックデジットは自動付加されます

※ 英小文字はサポートしていません。

6.3 バーコード機能の使い方

6.3.1 バーコードの登録

バーコード機能を用いると、バーコードとバーコード文字の出力ができます。

バーコードやバーコード文字は文字飾りで指定します。

バーコードは ?B、?K を利用し、バーコード文字は ?C、?L で指定します。

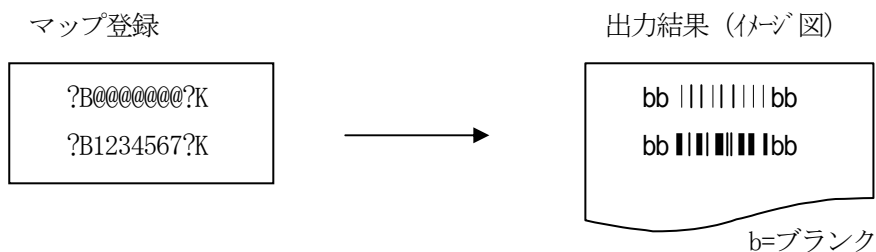
※ イメージ方式の FAX 出力には利用できません。

バーコード開始/終了・・・ ‘?B’ ‘?K’

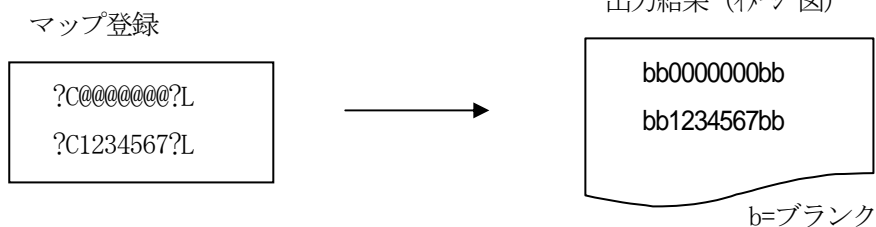
バーコード文字開始/終了・・・ ‘?C’ ‘?L’

<使用例> @マークは、マップ登録時の置換フィールド（変数入力域）です。

バーコード指定



バーコード文字指定



マップを登録すると編集イメージが出力されますが、その時置換フィールドは ‘0’ で出力されます。

6.3.2 バーコードの送信

バーコードを含むデータを送信するには、“A” フィルターヘッダーレコードにバーコードの種類を指定し、バーコード文字飾りで作ったマップを送ります。送信先は、IE/EX FAXインターフェイスの宛先と同じです。データを出力するには、マッピング方式で数字・アルファベット・特殊文字を各種バーコードの範囲に応じ入力すると、すでに登録されているマップの置換フィールドが編集され、FAXにバーコード/バーコード文字が出力されます。

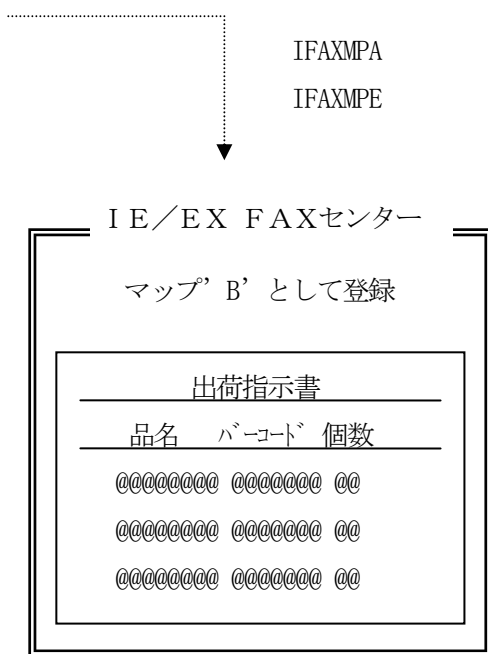
マップの登録のデータ送信

JAN

AMIA41.. IFAX. B5... 044-246-4262

```

M      出荷指示書
M-----
M 品名   バーコード   個数
M-----
M @@@@@ @ ?B@@@@@?K @@
M @@@@@ @ ?B@@@@@?K @@
M @@@@@ @ ?B@@@@@?K @@
    
```



IFAXMPA
IFAXMPE

出力バーコードデータ送信

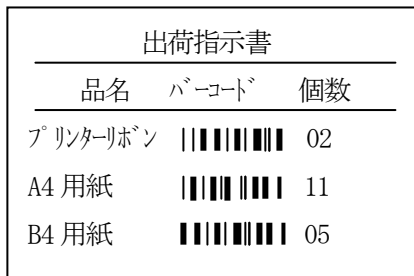
AFIA41.. IFAX. B... 044-246-4262..
 C プリンターリボン 141121102A4 用紙 1511111
 C11B4 用紙 151120511

IFAXAnn
IFAXEnn

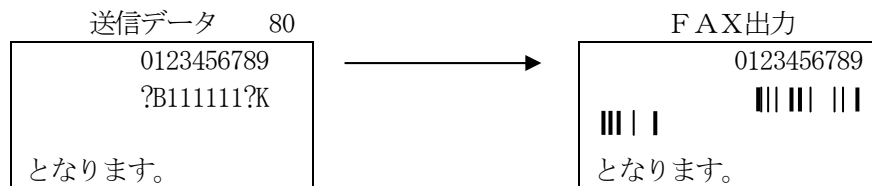
044-246-4262

FAX 出力

FAX



- ⑤ 送信データの桁数よりバーコードの長さは長くなりますので、帳票データ作成の際は余裕を持って作ることをお勧めします。従って、バーコード使用の場合は罫線を行末に入れないで下さい。



- ⑥ バーコード／バーコード文字に、行間隔以外の文字飾りを指定すると正しく反映されませんので、利用しないで下さい。

※ 横倍角、アンダーライン、強調、4倍角は使えません。

?0?B123456?K?I

?C?X1234567?Y?L

?W30?B12345?K

- ⑦ バーコード／バーコード文字の指定の中に、2バイト文字は利用出来ません。

?B123 4 456?K

- ⑧ JANのようにバーコードの桁が固定のものは、桁数以下で指定するとバーコードが出力しません。

- ⑧ バーコードの読み取りは、お客様のFAXの機種や印刷紙の状況により一部読み取りにくいことがあります。

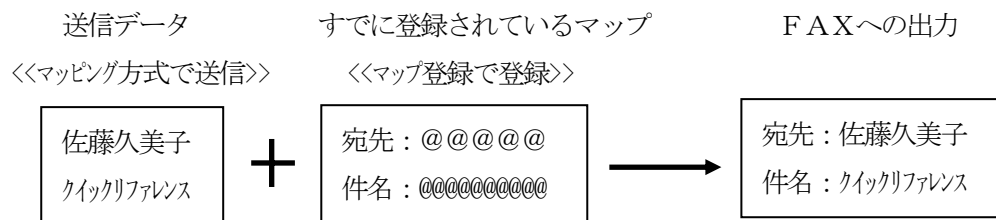
※ 感熱紙で読み取りにくい場合は、一度コピーすると読み取り率があがります。

ヨコでの出力は、バー間隔の出力の乱れを生じ、誤読の原因となるため対応しておりません。

7 マッピング方式

7.1 マッピング方式でできること

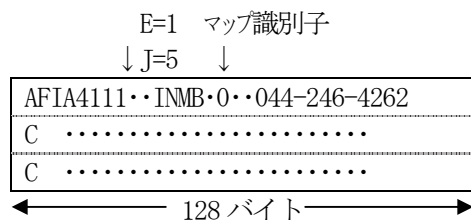
事前に登録されたマップ中の置換フィールド (@マーク) に、編集するためのデータを送信します。
@マークは、2バイト文字/1バイト文字どちらも使用可能です。



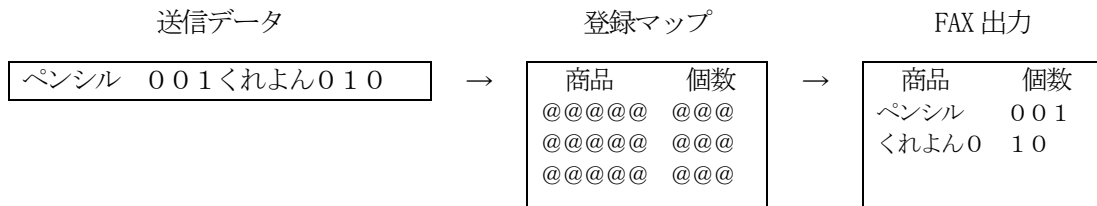
7.2 マッピング方式の使い方

7.2.1 マッピング方式の登録

- ① 最初の128バイトにAレコードの送信情報をのせ、以降1バイト目を'C'にして128バイトごとのデータを作成します。
※ 登録/更新の情報レコードの場合は1バイト目は'M'です。5.2.1 参照。
- ② マップがE系で登録されていてもJ系で登録されていても、マッピング方式のデータはJ系/E系のどちらでも構いません。ただし、J系/E系では送信する際の宛先及びAレコードの指定が異なります。
※ 間違えるとエラーになります。

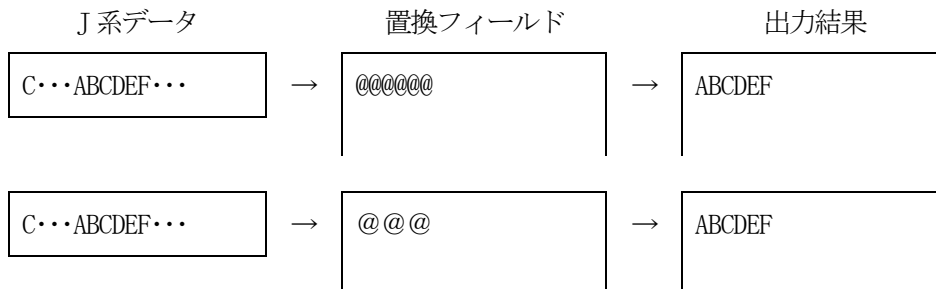


- ③ データは、登録マップの置換フィールドの先頭より順番に入力編集していきます。



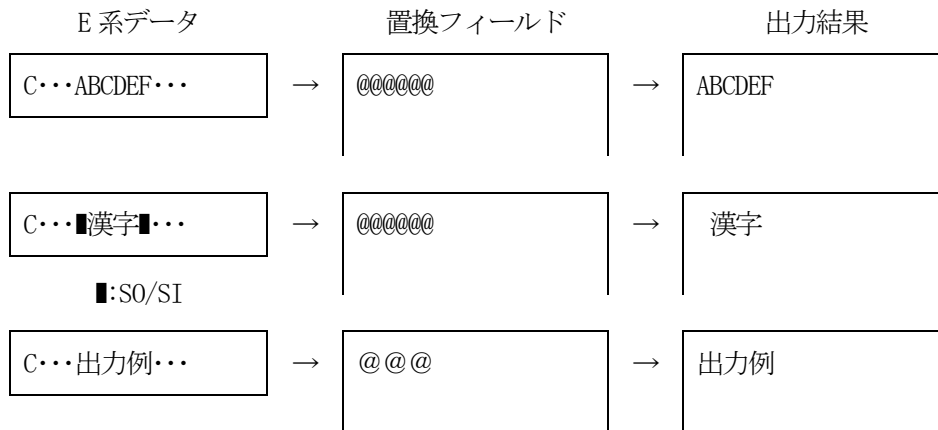
※ 上記のようにマッピング用のデータが、置換フィールドの桁に満たない場合は空白を送ってください。詰めてしまうと下記の『くれよん』のようにずれてしまいます。

- ④ 行間隔は、マップ登録の“A”ファイルヘッダーレコードの設定になります。マッピング方式の“A”ファイルヘッダーレコードに行間隔の指定は不要です。
- ⑤ J系の場合置換フィールド項目の種別（1バイト／2バイト）による区別はしません。即ち、入力桁数と置換フィールド桁数が一致していれば正しく出力されます。



- ⑥ E系の場合、1バイトの置換フィールドには1バイト文字（カナ文字セット使用）又はSOS Iで挟まれた2バイト文字が出力できます。（このとき入力されたSOS Iは空白に変換されます）
2バイトの置換フィールドには2バイト文字のみが出力可能です。

※ このとき入力データにSOS Iは不要です。



SOS Iを使用して2バイト文字を出力する場合、SOS Iは同一置換フィールド内で閉じている必要があります。



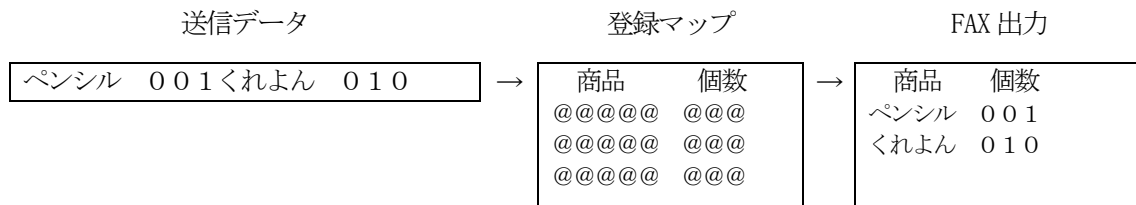
⑦ 改行

改行は利用できません。データ中に改行 CRLF (E系 X'0D25'・2バイト) があると空白が
2バイト出力されます。(J系 X'0D0A'・2バイト)

⑧ 改頁

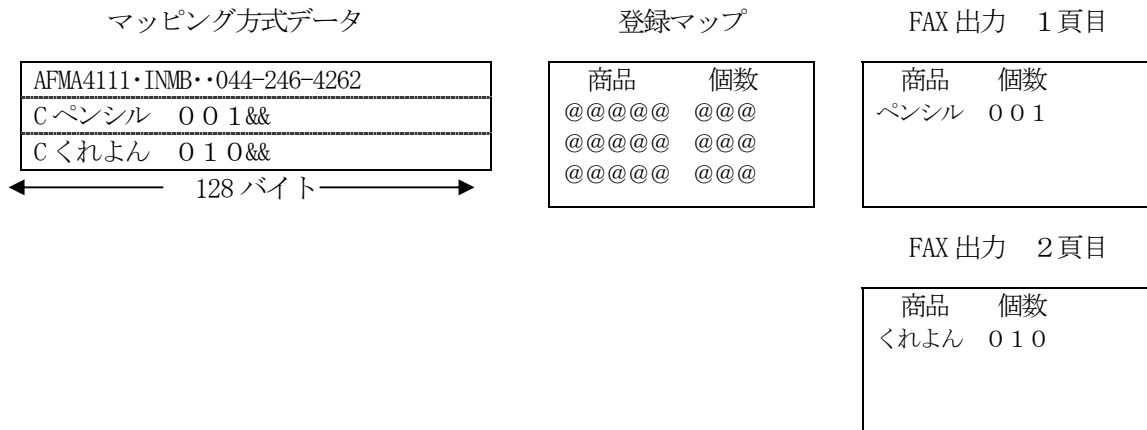
(E系 X'0C'・1バイト)

1頁分のデータの終りは、FF (J系 X'0C'・1バイト) 又は && (キャラクター・2バイト) を使い、これにより改頁を行います。1頁分のデータに満たない場合は、残りの登録マップ上の置換フィールドはブランクになります。

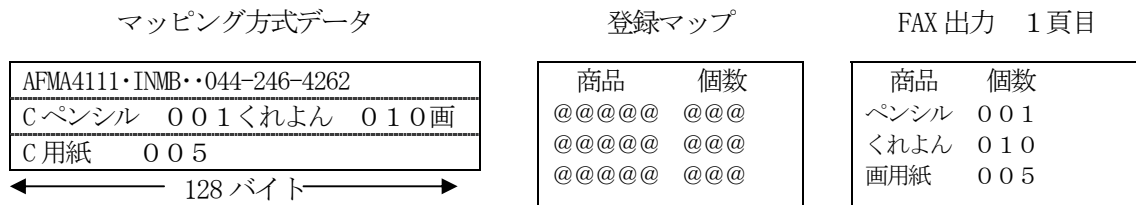


1頁分のデータを1レコード単位(128バイト)でチェックします。

1頁分のデータが終了したら 'FF' 又は '&&' で改頁し、次の頁のデータは次のレコードに入力します。



'FF' 又は '&&' が指定されたレコードの、'FF' 又は '&&' 以降のデータは読み捨てます。データが1頁分を満たし且つその後ろに '&&' があっても構いません。'&&' は無効です。置き換え値が2レコードにまたがっても構いません。



⑨ 全頁終了

全頁終了は利用出来ません。

7.2.2 マッピング方式の送信

FAXデータは、J系/E系のどちらでも構いません。

ただし、J系/E系では送信する際の宛先及びAレコードの指定が異なります。

※ 間違えるとエラーになります。

データ区分をFMにします。

宛先 J系は **I F A X A n n**

E系は **I F A X E n n**

(宛先は、イメージ方式と同じです)

↓

AFMA4115 INMB 0
C
C
C

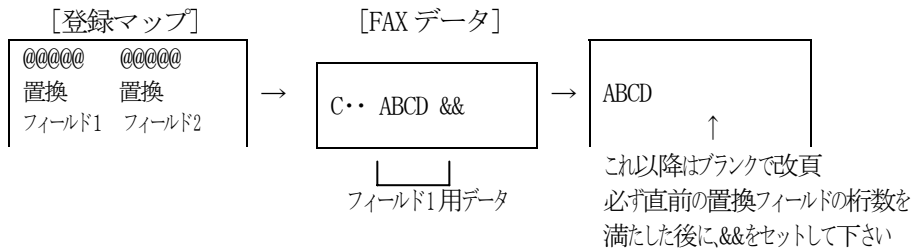
↓

AFMA4111 INMB 0
C
C
C

7.3 マッピング注意点とポイント

- ① 全てエディット済のデータ（文字として編集されたもの）を送信してください。
- ② 行間隔及び1行の文字数は登録マップの指定に従います。（5. 1 参照）
- ③ FAXデータは、登録マップで指定された置換フィールド項目順に、過不足なくセットされている必要があります。（SOS I も一桁とるのでご注意ください。）
- ④ 1頁分のデータが満たされると改頁されますが、その頁の残りの置換フィールド項目を全てブランクにし改ページする場合は、以降をブランクにしたい置換フィールドの先頭に '&&' を入れます。

（下記の例では、置換フィールド2以降をブランクにし、改頁します。）



- ⑤ '&&' がなく登録マップで指定された置換フィールド項目の桁数と、FAXデータの桁数が合わない場合には編集エラーとなります。置き換えデータで当該頁内の全ての置換フィールドが正常に置換される場合、次のコード情報レコードに '&&' があると次頁がオールブランクの余分な頁として出力されます。

当該頁	C	←	...
	C
	C	←	丁度レコードの切れ目までデータ項目がある
2頁目	C	&&.....	←	ブランク頁として出力
3頁目	C		置き換えの値にズレを生じながら置き換えられる
	C]	(編集エラーになるケースがあります)

- ⑥ 置き換えデータで当該頁内の全ての置換フィールドが正常に置換される場合、このコード情報レコードの後ろに '&' があるとこれは読み捨てられますが、その次のコード情報レコードの先頭にある '&' はデータとみなされるため、2頁以降は1バイトずれて編集されます。

当該頁	C	←	...
	C
	C&	←	丁度レコードの切れ目 -1 までデータ項目がある
2頁目	C	&.....		置き換えの値にズレを生じながら置き換えられる
	C]	(編集エラーになるケースがあります。)

- ⑦ IBM漢字の場合、JIS第一水準、第二水準にないものは、『■』になります。
 外字は登録・使用できません。また、SOS I内にCRLFなどのコントロール文字が入っていてもこれは2バイト文字と見なされ変換されるため、出力結果は『■』になります。

7.3.1 マッピングデータ サンプル

1宛先目	1頁目	A	FMA4115 0 13 INMB 0 xxx-xxx-xxxx	マップ0
		C	コード情報レコード	
		C		
2頁目	2頁目	C	&& ブランク	マップ0
		C		
		C		
3頁目	3頁目	P	FMA4115 0 13 INMB 1 xxx-xxx-xxxx	マップ1
		C		
		C	&& ブランク	
2宛先目	1頁目	A	FMA4115 0 13 INMB 2 xxx-xxx-xxxx	マップ2
		C	コード情報レコード	
		C		
2頁目	2頁目	C	ブランク	マップ3
		P	FMA4115 0 13 INMB 3 xxx-xxx-xxxx	
		C		
3宛先目	4宛先目	C		マップ4
		C		
		C		
2頁目	2頁目	P	FMA4115 0 13 INMB 1 xxx-xxx-xxxx	マップ1
		C		
		C	&& ブランク	

← データ項目が1頁をフルに満たす場合' &&' は不要

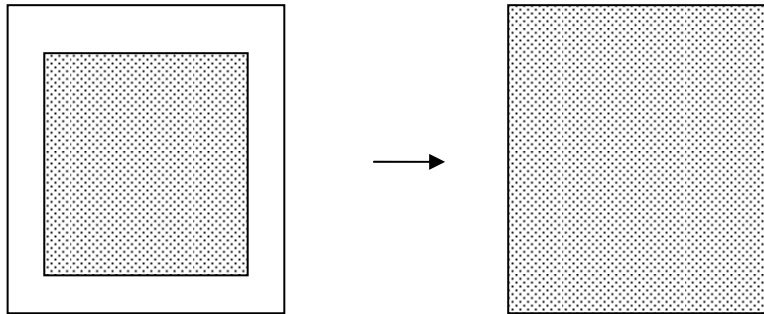
同報処理を指定してあります


※ 頁の終りには && を入れます。

8 出力文字数拡大機能

8.1 出力文字数拡大機能でできること

“A” ファイルヘッダーレコード上で指定することにより、マージンを無くしたFAX帳票を出力することが可能です。標準モードより、70～80%の出力文字数が拡大します。ただし、縦帳票のみで使用可能です。横帳票で指定しても無効となります。



 は、文字が出力される領域を示します。

8.2 出力文字数拡大機能の使い方

8.2.1 指定のしかた

“A” ファイルヘッダーレコード内24桁目に、マージンなし‘1’を指定する。

8. 2. 2 出力文字数拡大指定時の行間隔と最大行数

マージンなしを指定した場合の、各用紙サイズごとの行間隔と最大行数

サイズ 行間隔	A 4 縦 半角 104	B 4 縦 半角 126	サイズ 行間隔	A 4 縦 半角 104	B 4 縦 半角 126	サイズ 行間隔	A 4 縦 半角 104	B 4 縦 半角 126
0	-	-	34	49	61	68	24	30
1	1690	2080	35	48	59	69	24	30
2	845	1040	36	46	57	70	24	29
3	563	693	37	45	56	71	23	29
4	422	520	38	44	54	72	23	28
5	338	416	39	43	53	73	23	28
6	281	346	40	42	52	74	22	28
7	241	297	41	41	50	75	22	27
8	211	260	42	40	49	76	22	27
9	187	231	43	39	48	77	21	27
10	169	208	44	38	47	78	21	26
11	153	189	45	37	46	79	21	26
12	140	173	46	36	45	80	21	26
13	130	160	47	35	44	81	20	25
14	120	148	48	35	43	82	20	25
15	112	138	49	34	42	83	20	25
16	105	130	50	33	41	84	20	24
17	99	122	51	33	40	85	19	24
18	93	115	52	32	40	86	19	24
19	88	109	53	31	39	87	19	23
20	84	104	54	31	38	88	19	23
21	80	99	55	30	37	89	18	23
22	76	94	56	30	37	90	18	23
23	73	90	57	29	36	91	18	22
24	70	86	58	29	35	92	18	22
25	67	83	59	28	35	93	18	22
26	65	80	60	28	34	94	17	22
27	62	77	61	27	34	95	17	21
28	60	74	62	27	33	96	17	21
29	58	71	63	26	33	97	17	21
30	56	69	64	26	32	98	17	21
31	54	67	65	26	32	99	17	21
32	52	65	66	25	31			
33	51	63	67	25	31			

8.3 出力文字拡大機能の注意点とポイント

- － 横帳票のサポートはありません。
- － 複数ページ出力（Pレコード）に混在はできません。全帳票がマージンなしに指定されてしまいます。
- － 帳票いっぱい出力になるため出力FAXの調整により、末尾が切れてしまう可能性があるため、実際にFAX出力して確認してください。
- － すでに登録されているマップには影響はありません。
既存帳票の修正不要です。既存帳票のマージンなし対応も可能です。
- － 横帳票指定のとき、マージンなし帳票が指定されても無効となります。

9 利用上の注意点

9.1 出力時間

FAXセンター内での処理はIE/EXに送信されたメッセージ単位で行われ、マルチタスクで処理されます。このため、大量データを1メッセージで送信するよりも、いくつかのメッセージに分割して送信したほうが処理は早くなります。大量データの場合、分割の目安は1宛先に1枚ずつ送信するとして100宛先単位の分割です。

しかし、細かく分割しすぎても処理に時間がかかります。特にIEヘッダーのみの0件のデータの送信は無駄な処理を行わせることとなりますので、なるべく避けてください。

処理速度はメッセージの大きさに比例して遅くなり、遅れの目安は1レコード(128バイト)あたり0.5～1秒です。1時間あたりに出力できる枚数の目安は、1宛先にA4を1枚ずつ出力するとして約1000枚です。

ただし、状況により出力時間は異なります。1宛先1枚ずつ出力する方が処理効率は低下し、1枚あたりのデータ量が多いほど出力に時間がかかります。また、出力地域が集中していても出力に時間がかかる場合があります。

9.2 JCAプロトコル

JCAプロトコルは、非透過プロトコルでEBCDICコードを使用します。

このため、FAXインターフェースで用いられる下記のコントロール文字が使用できません。

- CRLF
- FF
- ETX
- SOSI

イメージ方式を用いる場合の制限

- CRLFが利用できないので、一行をフルに送信する必要があります。実際のデータが満たない場合でも後ろにブランクを入れて一行の文字数を満たせば、改行は可能です。
- FF及びETXが利用できないので、改頁をする場合は'&&'を、全てのデータの最後には'?&'をセットして下さい。
- SOSIが利用できないので、イメージ方式では漢字データを送信できません。

マッピング方式を用いる場合の制限

- － マップの登録・更新を行う場合は、[②イメージ方式の制限]と同様の制限があります。
- － 別のプロトコルで登録されたマップにある漢字は、そのまま出力されます。
- － 2バイトの置換フィールドにSOSIで囲まない漢字データを送ると、そのまま漢字出力が可能です。

9.3 IEユーザー

FAXインターフェースは、1メッセージを一つの完結した処理単位として扱います。従って、複数メッセージからなる『メッセージ・グループ』をまとめて処理することはできません。必ず1メッセージで送信して下さい。

IE/EX提供のプログラムをご利用の場合は、以下の点に注意して下さい。

- － SHIP・BDI・expEDite/MVS利用時、ファイル送信コマンド（第一部分）のメッセージ・サイズは‘00’又はブランクとして下さい。
- － その他のExpeditシリーズ利用時は必ず、XFLCコマンドの配布リストを使用して下さい。

9.4 大量データ送信中のマップ更新

大量データを送信した場合、処理途中でマップ更新を行うとマップ更新以降に処理されたデータに関しては新しいマップが使用されます。マップ更新を行う場合は、送信データの処理が終了していることを確認後更新して下さい。

9.5 ユーザーID解約時

NMS<IE/EX>FAXインターフェース登録申請書の 削除 の項目をチェックし、申請してください。その際、事前に登録済みマップを削除してください。マップは自動的に削除されませんので、マップが残っている場合は課金されます。

9.6 フリーダイヤル(0120)及びナビダイヤル(0570)へのFAX出力

フリーダイヤル及びナビダイヤルに対するFAX配信については、基本的に配信は可能です。
ただし、それらの宛先への配信は、該当サービスの契約等により、問題が発生する場合があります。
原則的には、相手先には通常の市外局番から始まる番号を指定してください。

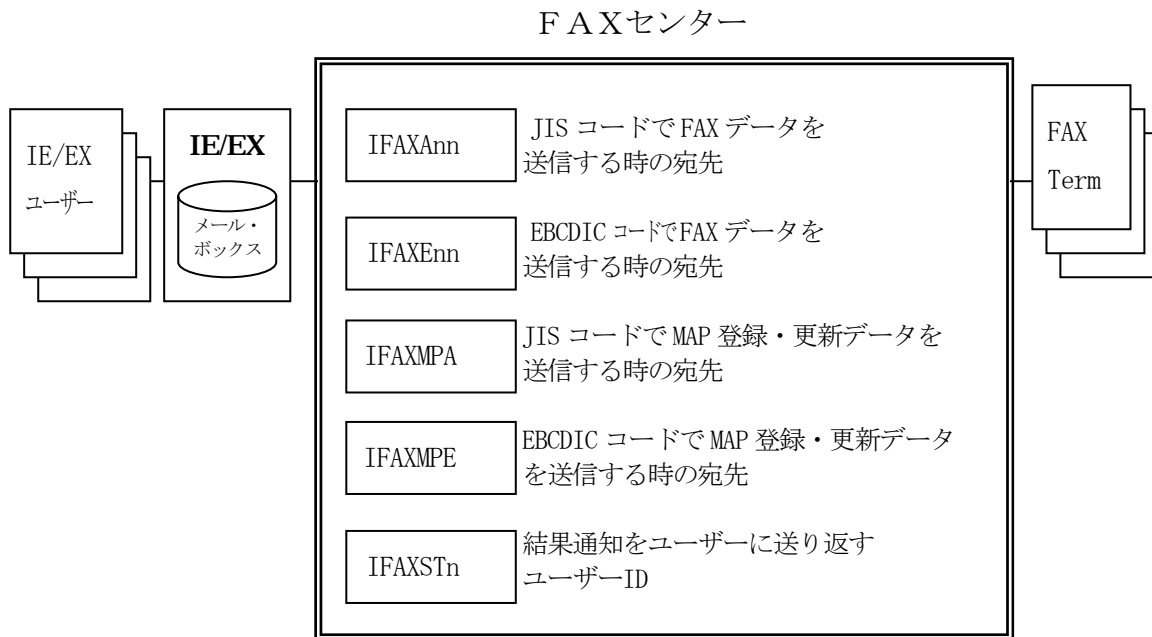
9.7 FAX通信管理レポートの送信元

相手先FAXの通信管理レポートに表示される、受信時の送信者の欄はblankとなります。

10 ユーザーID一覧とメッセージ識別コード

10.1 ユーザーID

IE/EX FAXインターフェースの宛先ユーザーIDは、その使用目的により以下の種類が用意されています。お客様は、使用目的に応じたFAXインターフェースの宛先ユーザーIDを選択し、データ送受信を行ってください。

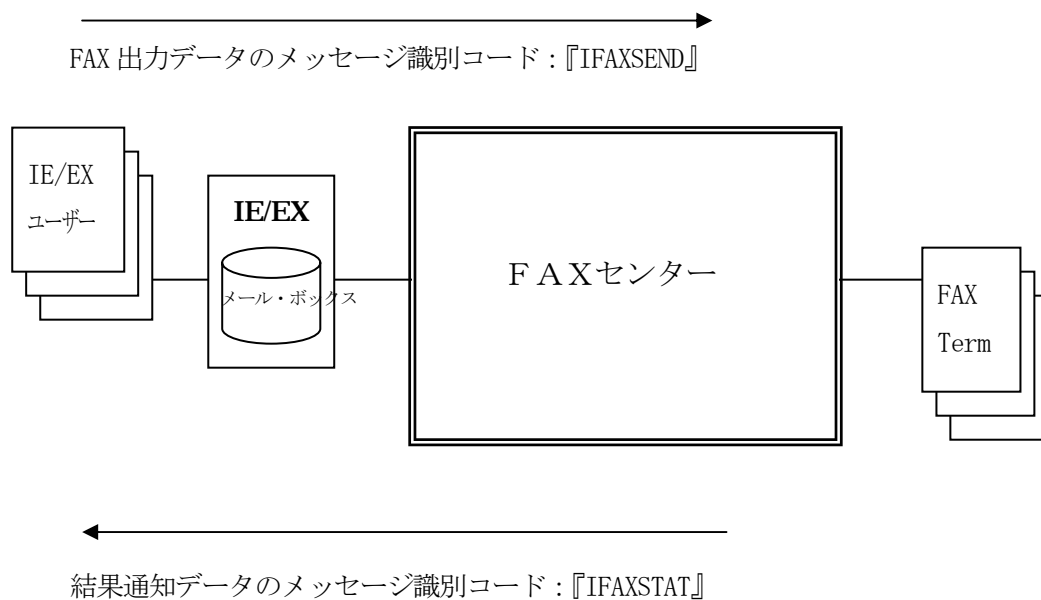


結果通知をユーザーに送り返すユーザーID (IFAXSTn) のサフィックス(n)は'1'から順次カウント・アップされます。

お客様がどのサフィックスの宛先から結果通知を受信するかは、登録申請時にアサインされますので、お客様側システムは宛先を変更できるように設計して下さい。

10.2 メッセージ識別コード

IE/EX FAXインターフェースの利用にあたってのメッセージ識別コードは、以下のよう
に設定する必要があります。



- 業界プロトコルのお客様は、データ種別／ファイル名をメッセージ識別コードに変換するようにサービス管理責任者の登録が必要です。
- IEユーザーの場合、メッセージ識別コードは『ユーザー・クラス』にセットします。

1 1 料金体系の説明

1 1 . 1 料金項目

料金項目	固定/変動	定義
初期登録料	固定費	・IE/EX FAX インターフェースの利用を希望する顧客単位に課金します。 ・FAX インターフェース利用登録ユーザーIDは最大 5 ユーザーID/顧客です。
月次基本料	固定費	・IE/EX FAX インターフェースの利用する顧客単位に課金します。 ・日割計算はありません。
FAX 出力料-A4 サイズ	変動費	・A4 サイズFAX 出力に課金します。
FAX 出力料-B4 サイズ	変動費	・B4 サイズFAX 出力に課金します。
マップ登録・更新料	変動費	・FAX マップの登録・更新料金です。 ・同一マップ識別子(*)に対して同一月内で複数の登録・更新処理を行っても 1 登録・更新となります。 ・マップの削除処理は、登録・更新処理の対象になりません。 (*)サイズ・方向を含め、同一のものを言います。
マップ保管料	変動費	・FAX マップの登録されたものに対する保管料金です。 ・毎月 1 日に登録が存在するものに対し課金します。 ・日割計算はありません。
結果通知料	変動費	・FAX 出力に際して、エラーの結果通知情報には課金しませんが、正しく FAX 出力されたものに対する結果通知情報に対し課金します。 ・エラーの通知とは最終処理結果が'00'または'01'以外の結果通知情報です。

バーコードは、機能の提供であるため料金は上記料金体系と同じです。

注意点： i. 当 FAX インターフェース利用にあたって発生する上記の項目以外の費用として、通常の IE/EX サービスに関する料金があります。

例・IE/EX トランザクション処理料

・IE/EX 交換回線接続料（業界プロトコル利用の場合）

これらの費用は、全て FAX データ送信者に課金されます。

即ち、FAX データ送信は送信者課金で登録し、結果通知情報受信は受信者課金で登録します。

ii. FAX センターに送信される FAX データは、メッセージ識別コードを正しく

‘IFAXSEND’ にセットすれば、3 日を超えて IE/EX サービスのメッセージ・キューに蓄積されることはなく、短期貯蔵料は発生しません。

FAX センターから送られる結果通知情報は、当該データを送信したユーザーのメッセージ・キューに蓄積されますので、速やかに受信して下さい。

11.2 留意点

[変動費の課金]

- ・変動費は、下記のように実際に当サービスの利用月とその請求が行われる月がズレますので注意して下さい。
 - －(月1)の変動費は、(月2)の請求データとして(月3)に請求される。
 - －(月2)の変動費は、(月3)の請求データとして(月4)に請求される。
 - －このため、サービス契約が解約されても請求が行われることがあります。

(月1)			(月2)			(月3)											
FAX サービス利用月																	
1	2	28	29	30	1	2	3		29	30	31	1	2	3	4	

┌ この間のサービス利用
└ が請求対象

┌ この月の請求として発行

┌ 請求書発行月

添付1：用語集

- Expedite シリーズ : I E / E X との通信ソフトウェア
- 国際 I E : 国際間で情報交換を行うためのサービス。
I E / E X サービスには、国内 I E / E X と国際 I E サービスがある。
- E 系 : E B C D I C / I B M 漢字の文字コードに対する I E / E X F A X インターフェースでの名称
- J 系 : A S C I I / シフト J I S 漢字の文字コードに対する I E / E X F A X インターフェースでの名称
- バーコード : 添付3 参照
- 顧客コード : I E / E X 内でユーザー識別として使われるもので、顧客コードとユーザー I D は登録時に弊社よりお渡ししているもの。
- マージン : 帳票出力時の文字出力域のへりの余白の部分
- T A T : ターン・アラウンド・タイムの略で、ここではデータを送信してから F A X 出力するまでを意味する。

添付2：利用例（データ作成サンプル、Expedite Base/MVS）

データ作成にはいろいろな方法がありますが、下記にサンプルを記載しますので参考にしてください。

Expedite Base/MVS サンプルJCL (E系)

Expedite Base/MVS を使用してFAXセンターへデータを送信する場合、下記のように行います。

データ作成（128バイト）

イメージ方式で送信時

FAXへ出力するイメージにあわせて、データを作成します。

1行目は、'A' ファイルヘッダーレコードです。FAX及び相手先情報を記述します。

下記は、イメージ方式（データ区分は'FI'）A4縦 行間隔13 のサンプルです。

2行目は、'C' コード情報レコードです。実際の出力内容を記述します。

改行する場合は、ヘキサ '0D25' を記述します。

改頁する場合は、ヘキサ '0C' 又はキャラクター && を記述します。

全ての頁が終了した場合は、ヘキサ '03' 又はキャラクター ?& を記述します。

データセット名： FAX.DATA(IMAGE01) Dsorg PO Recfm FB Lrecl 128 Blksz 12800

```
***** Top of Data *****
000001 AFIA4111 013 xxxx          1xxxx01F          03-1234-5678
000002 CX'0D25'          ***      配信依頼書      ***
000003 CX'0D25'      山崎倉庫（株） 御中
000004 CX'0D25'      配送先：東京都品川区大崎1-6-3      株式会社 日本HAL
000005 CX'0D25'
000006 CX'0D25'      商品番号      商品名      数量      納期
000007 CX'0D25'
000008 CX'0D25'      100010      ボールペン（黒） 20      05/01
000009 CX'0D25'      200020      液状糊      30      06/01
000010 CX'0D25'      100430      サインペンセット 25      06/01
000011 CX'0D25'
***** Bottom of Data *****
```

マップ登録時

FAXへ出力するイメージにあわせて、マップを登録します。

@ 又は @ マークで指定されたフィールドが置換フィールドです。

(その後、登録したマップの置換フィールドにあわせて、変更データを送付します。)

1行目は、'A' ファイルヘッダーレコードです。FAX及び相手先情報を記述します。

下記は、マップ登録（データ区分は'MI'）A4縦 行間隔13 のサンプルです。

初めてマップを登録する場合はデータ区分'MI'（マップ登録）を、登録されているマップを変更する場合は'MU'（マップ更新）を使用します。

2行目は、'M' コード情報レコードです。登録するマップ内容を記述します。

改行する場合は、ヘキサ '0D25' を記述します。

改頁する場合は、ヘキサ '0C' 又はキャラクター && を記述します。

全ての頁が終了した場合は、ヘキサ '03' 又はキャラクター ?& を記述します。

マップ登録では罫線が使用できます。

データセット名： FAX. DATA (MAPSEND) Dsorg PO Recfm FB Lrecl 128 Blksz 12800

```

***** ***** Top of Data *****
000001 AMIA4111 013 xxxx    A    1xxxxxxx                    03-1234-5678
000002 M
000003 MX'0D25'                    ***    配信依頼書    ***
000004 MX'0D25'                    山崎倉庫(株) 御中
000005 MX'0D25'                    配送先：東京都品川区大崎1-6-3                    株式会社 日本HAL
000006 MX'0D25'                    !-----*
000007 MX'0D25'                    |                    商品番号                    商品名                    数量                    納期                    |
000008 MX'0D25'                    %-----;
000009 MX'0D25'                    |                    @@@@@@@@@@                    @@@@@@                    @@ / @@                    |
000010 MX'0D25'                    |                    @@@@@@@@@@                    @@@@@@                    @@ / @@                    |
000011 MX'0D25'                    |                    @@@@@@@@@@                    @@@@@@                    @@ / @@                    |
000012 MX'0D25'                    &-----"                    ?&
***** ***** Bottom of Data *****

```

* 上記データは80バイトデータでのサンプルです。

128バイト単位のレコード変換して送信してください。

マッピング方式で送信時

登録したマップの置換フィールドにあわせて、変更データを送付します。

1行目は、'A' ファイルヘッダーレコードです。FAX及び相手先情報を記述します。
下記は、マッピング方式（データ区分は'FM'）A4縦 行間隔13 のサンプルです。
2行目は、'C' コード情報レコードです。

登録マップの置換フィールドの先頭より順番に、入力するデータを記述します。

データが置換フィールドの桁に満たない場合は、ブランクを送ります。

下記のサンプルはイメージです。

実際のデータ内2バイト文字のSOSIは削除します。

データセット名： FAX. DATA (MAPDATA) Dsorg P0 Recfm FB Lrecl 128 Blksz 12800

```
***** ***** Top of Data *****
000001 AFMA4111 013 xxxx    A    1xxxxxxx                    03-1234-5678
000002 C            100010 ボールペン (黒)    200501            200020 液状糊            300601            100
000002 C430 サインペンセット    250601
***** ***** Bottom of Data *****
```

データ送信用JCL (80バイト)

作成したデータを送信します。

送信データのメッセージ識別コードは、『IFAXSEND』です。

E系イメージ方式/マッピング方式データ送信の場合は、IFAXENNへ送信します。

E系マップ登録/マップ更新データ送信の場合は、IFAXMPEへ送信します。

下記は、イメージ方式データ送信の場合のサンプルです。

データセット名： FAX.JCL(SENDDATA) Dsorg PO Recfm FB Lrecl 80 Blksz 3120

```
***** ***** Top of Data *****
000001 //jobname JOB (XXXX), 'xxxx xxxx', TIME=1, MSGCLASS=A,
000002 //          USER=userid, PASSWORD=password,
000003 //JOBLIB DD DSN=xxxxx. BMVS45. HQK6450. SEXXLOAD,
000004 //          DISP=SHR, UNIT=SYSDA, VOL=SER=xxxxxxx
000005 //EXPSND EXEC PGM=IEBASE, REGION=2048K
000006 //INPRO DD *
000007 IDENTIFY IEACCOUNT(XXXX) IEUSERID(XXXXXXXX) IEPASSWORD(XXXXXXXX)
000008 TIMEZONE(JST);
000009 SNACOMM IELUNAME(QZQB62I1) IELUMODE(IINAPPC) USERLUNAME(XXXXXXXX);
000010 /*
000011 //INMSG DD *
000012 SEND FILEID(DD:SENDDD) ACCOUNT(ifax) USERID(ifaxe01) CLASS(IFAXSEND);
000013 /*
000014 //SNDDD DD DSN=FAX. DATA (IMAGE01)
000015 //          DISP=SHR, UNIT=SYSDA, VOL=SER=xxxxxxx
000016 //OUTPRO DD SYSOUT=*
000017 //OUTMSG DD SYSOUT=*
000018 //ERRORMSG DD DSN=xxxxx. BMVS45. HQK6450. SEXXMSG (EXXMSG),
000019 //          DISP=SHR, UNIT=SYSDA, VOL=SER=xxxxxxx
000020 //ERRORTXT DD DSN=xxxxx. BMVS45. HQK6450. SEXXMSG (EXXTXT),
000021 //          DISP=SHR, UNIT=SYSDA, VOL=SER=xxxxxxx
000022 //BASETRC DD SYSOUT=*
000023 //LINKTRC DD SYSOUT=*
000024 //SYSPRINT DD SYSOUT=*
000025 //SYSUDUMP DD SYSOUT=*
000026 //
***** ***** Bottom of Data *****
```

結果通知データ受信用JCL (80バイト)

結果通知データを受信します。

結果通知データのメッセージ識別コードは、『IFAXSTAT』です。

送信者は『IFAXSTn』です。結果通知データは、送信元ユーザー宛に送信されます。

(結果通知先を変更した場合は、変更したユーザー宛に送信されます。)

下記は、マッピング方式データ送信の場合のサンプルです。

データセット名： FAX.JCL(RCVDATA) Dsorg P0 Recfm FB Lrecl 80 Blksz 3120

```
***** ***** Top of Data *****
000001 //jobname  JOB (XXXX), 'xxxx xxxx', TIME=1, MSGCLASS=A,
000002 //                USER=userid, PASSWORD=password,
000003 //JOBLIB   DD  DSN=xxxxx. BMVS45. HQK6450. SEXXLOAD,
000004 //                DISP=SHR, UNIT=SYSDA, VOL=SER=xxxxxxx
000005 //EXPSND   EXEC PGM=IEBASE, REGION=2048K
000006 //INPRO   DD  *
000007     IDENTIFY IEACCOUNT(XXXX) IEUSERID(XXXXXXXX) IEPASSWORD(XXXXXXXX)
000008     TIMEZONE(JST);
000009     SNACOMM IELUNAME(QZQB62I1) IELUMODE(IINAPPC) USERLUNAME(XXXXXXXX);
000010 /*
000011 //INMSG     DD  *
000012     RECEIVE FILEID(DD:RECVDD) ACCOUNT(ifax) USERID(ifaxst1)
000013     CLASS(IFAXSTAT);
000014 /*
000015 //RECVDD    DD  DSN=FAX. RECEIVE,
000016 //                DISP=SHR, UNIT=SYSDA, VOL=SER=xxxxxxx
000017 //OUTPRO    DD  SYSOUT=*
000018 //OUTMSG    DD  SYSOUT=*
000019 //ERRORMSG  DD  DSN=xxxxxx. BMVS45. HQK6450. SEXXMSGs (EXXMSG),
000020 //                DISP=SHR, UNIT=SYSDA, VOL=SER=xxxxxxx
000021 //ERRORTXT  DD  DSN=xxxxxx. BMVS45. HQK6450. SEXXMSGs (EXXTXT),
000022 //                DISP=SHR, UNIT=SYSDA, VOL=SER=xxxxxxx
000023 //BASETRC   DD  SYSOUT=*
000024 //LINKTRC   DD  SYSOUT=*
000025 //SYSPRINT  DD  SYSOUT=*
000026 //SYSUDUMP  DD  SYSOUT=*
000027 //
***** ***** Bottom of Data *****
```

出力結果

イメージ方式

*** 配信依頼書 ***			
山崎倉庫(株) 御中		株式会社 日本HAL	
配送先: 東京都品川区大崎1-6-3			
商品番号	商品名	数量	納期
100010	ボールペン (黒)	20	05 / 01
200020	液状糊	30	06 / 01
100430	サインペンセット	25	06 / 01

マッピング方式

*** 配信依頼書 ***			
山崎倉庫(株) 御中		株式会社 日本HAL	
配送先: 東京都品川区大崎1-6-3			
商品番号	商品名	数量	納期
100010	ボールペン (黒)	20	05 / 01
200020	液状糊	30	06 / 01
100430	サインペンセット	25	06 / 01

添付3：バーコードについて（二次元バーコードは含まず）

1. バーコードとは

スキャナーがバーコードの黒バーと白のスペースよりの反射光をとらえ電気信号に変えます。バーコードの読み取りは、黒バーとスペースの反射率に大きく影響を受けるため、スペース部分にシミがついていたり、白と黒のコントラストがあまりない場合は、読み取りに影響することもあります。

2. 各バーコード種類の特長

－ I T F (I n t e r l e a v e d 2 o f 5)

5本のバー（2本は太いバー）と5本のスペース（2本は太いスペース）の組合わせで、構成されます。独自のスタートストップコードと、バーコード前後のブランクスペースをとりますが、これらはFAXセンターで自動付加されます。2つのキャラクター単位の処理となるためバーコードの数は偶数倍となります。

－ コード39

9本のバー（3本は太いバー）とスペースで構成されます。

スタートストップは、'*' を使用します。スタートストップを含む 数字(0-9) / 記号(- . _ \$ / + %) / アルファベット(A-Z)を送ってください。

－ N W - 7

7本の黒いバーとスペースで構成されます。

スタートストップは、通常 'A' 'B' 'C' 'D' が使用されます。スタートストップを含む 数字(0-9) / 記号(- . _ \$ / + %) / アルファベット(A-Z)を送ってください。

－ J A N コード

バーコードの始め／終わり／中央に他より長いバーを2本づつおき、左右の内容を分けています。12桁+チェックデジット表示されます。チェックデジットはFAXセンターで自動付加しますので、お客様は12桁固定でデータを送ってください。

